kabu.com

カブドットコム証券

東証１部［8703］

わたしたちはMUFGです。

第8期　(平成１９年３月期)

第３ 四半期　決算説明資料

平成19年2月6日

カブドットコム証券株式会社

FASF

目次

Ⅰ. 決算概況

(P 3) 決算ハイライト
(P 4) 決算業績 (4-12月：9ヵ月)
(P 5) 販管費 (4-12月：9ヵ月)
(P 6) 決算業績 (直近四半期推移)
(P 7) 販管費 (直近四半期推移)
(P 8) 主要経営指標 (直近四半期推移)

Ⅱ. 決算実績から見た当社ポジショニング

(P10) 株式個人委託売買代金シェア (四半期推移)
(P11) 口座数 (四半期推移)
(P12) 預り資産 (四半期推移)
(P13) 投資信託預り資産、及び投信積立金額 (月次推移)
(P14) 預り資産 (四半期推移/他社比較)
(P15) 営業収益経常利益率 (四半期推移)
(P16) コストカバー率 (四半期推移)
(P17) 金融収支と信用建玉残高 (四半期推移)
(P18) 先物・オプション市場(個人)(四半期推移)
(P19) 先物取引口座数と先物委託手数料 (四半期推移)
(P20) 三菱UFJフィナンシャル・グループとの連携強化
(P21) IPO/PO取扱い件数 (四半期推移)
(P22) シニア層のシェア推移 (四半期推移)

Ⅲ. 営業数値概況

(P24) 1日当たり株式約定数・約定金額
(P25) 手数料率と株式1約定当たり売買代金
(P26) 信用評価損益率 (買建のみ)
(P27) 株券差引入庫額 (1)
(P28) 株券差引入庫額 (2)

Ⅳ. 第3四半期の取り組み等

(P30) 第3四半期 (4-12月) の主な取り組み
(P31) IR活動状況
(P32) システム関連の開示 (1)
(P33) システム関連の開示 (2)
(P34) お客様サポートセンター関連の開示
(P35) 売買審査状況
(P36) kabu.comPTS (夜間取引) 関連の開示
(PTS-補足資料) 各社PTSの位置づけ
(P38) コーポレート・ガバナンス
(P39) 知的財産関連の活動状況

Ⅴ. 当社の経営目標

(P41) 当社の経営理念・経営方針
(P42) 当社の経営目標

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Ⅰ．決算概況

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

決算ハイライト

【第3四半期（4-12月：9ヵ月）】

- 営業収益（4-12月）は、前年同期比で10%増となった。
  - 三市場株式個人委託売買代金が前年同期比で8%減となる中での増収
- 金融収支は、前年同期比で80%増となった。　※ 金融収支＝金融収益－金融費用
- 販管費は一時費用が増加、その結果、経常利益は前年同期比で2%減となった。
- 前年同期末と比較し、総合口座数が61%増、信用口座数が54%増、預り資産が25%増と、大きく業容を拡大した。

【第3四半期（10-12月：3ヵ月）】

- 営業収益（10-12月）は、前年同期比で21%減となった。
  - 10月実施の信用取引手数料引下げによる減収要素をカバーし、三市場株式個人委託売買代金のパフォーマンス（前年同期比43%減）を上回った。
- 金融収支は、前年同期比で37%増となった。
- 販管費は一時費用が増加、その結果、経常利益は前年同期比で46%減となった。

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

決算業績 (4-12月：9ヵ月)

- **営業収益 (4-12月) は、前年同期比で10%増となった。三市場株式個人委託売買代金が前年同期比で8%減となる中での増収となった。**
- **金融収支は前年同期比で80%増と大きく改善。自己資金活用や低金利での調達手段による金融費用削減が収支に寄与した。**
- **一方、販管費の増加により、経常利益が前年同期比で2%減となった。**

(単位：百万円、切捨)

	平成18年3月期 第3四半期 (4-12月)	平成19年3月期 第3四半期 (4-12月)	前年同期比 増減率
営業収益	14,029	15,471	+10%
受入手数料	11,115	11,191	+1%
金融収益	2,875	4,274	+49%
金融費用	971	842	-13%
(金融収支＝金融収益－金融費用)	1,903	3,431	+80%
純営業収益	13,057	14,628	+12%
販管費	4,695	6,472	+38%
営業利益	8,361	8,155	-2%
経常利益	8,330	8,149	-2%
税引前純利益 (四半期)	7,958	7,913	-1%
当期純利益	4,715	4,672	-1%
ROE (自己資本純利益率) ＊年換算	25.5%	18.0%	-
(参考) 三市場株式個人委託売買代金 (/日)	11,274 億円	10,335 億円	-8%
(参考) 当社約定金額 (/日)	600 億円	669 億円	+12%

※三市場株式個人委託売買代金 (/日) は、東京証券取引所公表数値より当社算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

販管費（4-12月：9ヵ月）

■ **他社に先行してのBCP構築や夜間取引市場「kabu.comPTS」構築、信用取引に関わる個別銘柄の貸倒懸念債権に対する貸倒引当金の計上等の一時費用等が発生し、販管費を押し上げた。**

■ **販管費増加分の主な内訳は以下の通り：**

※ BCP： 事業継続計画（Business Continuity Plan）
※ PTS： 私設取引システム（Proprietary Trading System）

【一時費用】
- ①PTS・BCP関連費用 ： 1.0億円
- ②PTS関連広告費用 ： 1.2億円
- ③貸倒引当金の計上 ： 1.5億円
- ①+②+③ ： 3.7億円

【サービス改善に伴うその他追加支払費用～リース・減価償却等】
- ④PTS・BCP関連費用 ： 3.3億円
- ⑤システム安定化に伴うハードウェア増強等 ： 5.0億円

※情報料・通信費は取引関係費に、ハードウェア（リース・保守）は不動産関係費に、ソフトウェア償却は減価償却費に計上

（単位：百万円、切捨）

	平成18年3月期 第3四半期（4-12月）	平成19年3月期 第3四半期（4-12月）	前年同期比 増減率
販管費合計	4,695	6,472	+38%
取引関係費	2,448	3,227	+32%
広告宣伝費	309	355	+15%
その他	2,138	2,872	+34%
人件費	534	659	+23%
不動産関係費	769	1,316	+71%
事務費	536	605	+13%
減価償却費	212	335	+58%
租税公課	86	104	+20%
貸倒引当金	19	145	+652%
その他	88	77	-12%

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

わたしたちは MUFGです。

決算業績（直近四半期推移）

- **営業収益（10-12月）は、前年同期比で21%減となった。10月実施の信用手数料引下げによる減収要素をカバーし、三市場株式個人委託売買代金のパフォーマンス（前年同期比43%減）を上回った。**
- **金融収支は、8月開始の貸株による調達コスト削減効果が本格的に寄与し、前四半期比で2%増、前年同期比で37%増となった。**
- **販管費は一時費用が増加、その結果、経常利益は前年同期比で46%減となった。**
  （販管費の一時費用を除くと、経常利益は前年同期比で41%減、前四半期比で12%減となる）

（単位：百万円、切捨）

	平成18年3月期				平成19年3月期			前四半期比	前年同期比
	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）	第4四半期（1-3月）	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）		
営業収益	3,543	4,662	5,823	7,281	5,887	4,975	4,608	-7%	-21%
受入手数料	2,806	3,599	4,710	5,771	4,378	3,595	3,217	-11%	-32%
金融収益	735	1,061	1,079	1,554	1,505	1,378	1,390	+1%	+29%
金融費用	258	451	261	452	293	278	270	-3%	+3%
（金融収支＝金融収益－金融費用）	476	609	817	1,101	1,212	1,100	1,119	+2%	+37%
純営業収益	3,284	4,210	5,561	6,829	5,594	4,696	4,337	-8%	-22%
販管費	1,371	1,598	1,725	2,400	2,123	2,079	2,270	+9%	+32%
営業利益	1,913	2,612	3,836	4,428	3,471	2,617	2,067	-21%	-46%
経常利益	1,927	2,575	3,826	4,341	3,491	2,587	2,070	-20%	-46%
税引前純利益（四半期）	1,843	2,440	3,674	3,687	3,400	2,509	2,002	-20%	-46%
純利益（四半期）	1,084	1,470	2,160	5,030	2,019	1,476	1,176	-20%	-46%
（参考）三市場株式個人委託売買代金（/日）	6,368 億円	10,372 億円	17,096 億円	16,533 億円	11,931 億円	9,313 億円	9,777 億円	+5%	-43%
（参考）当社約定金額（/日）	373 億円	557 億円	871 億円	1,039 億円	778 億円	615 億円	615 億円	0%	-29%

※三市場株式個人委託売買代金（/日）は、東京証券取引所公表数値より当社にて算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

販管費（直近四半期推移）

- **当四半期では、夜間取引市場「kabu.comPTS」の事業立上げや、信用取引に関わる貸倒懸念債権による貸倒引当金等の一時費用が発生した。**
- **販管費増加分の主な内訳は以下の通り：**

【一時費用】

①PTS・BCP関連費用　：　0.4億円
②PTS関連広告費用　：　0.6億円
③貸倒引当金の計上　：　0.5億円
①+②+③　：　1.5億円

【サービス改善に伴うその他追加支払費用～リース・減価償却等】

④PTS・BCP関連費用　：　2.2億円
⑤システム安定化に伴うハードウェア増強等　：　1.4億円

※情報料・通信費は取引関係費に、ハードウェア（リース・保守）は不動産関係費に、ソフトウェア償却は減価償却費に計上

（単位：百万円、切捨）

	平成18年3月期				平成19年3月期			前四半期比	前年同期比
	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）	第4四半期（1-3月）	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）		
販管費率（対営業収益）	39%	34%	30%	33%	36%	42%	49%	+18%	+66%
販管費合計	1,371	1,598	1,725	2,400	2,123	2,079	2,270	+9%	+32%
取引関係費	717	763	967	1,120	1,053	1,087	1,086	-0%	+12%
広告宣伝費	118	80	110	77	93	140	121	-14%	+10%
その他	599	682	856	1,042	959	946	965	+2%	+13%
人件費	139	195	198	240	232	210	216	+3%	+9%
不動産関係費	239	273	256	362	356	437	522	+19%	+104%
事務費	153	234	148	355	231	184	189	+3%	+28%
減価償却費	65	71	75	83	81	106	148	+40%	+97%
租税公課	24	29	33	54	41	29	32	+10%	-3%
貸倒引当金	-	3	16	127	92	0	53	NA	+231%
その他	30	27	30	55	33	23	20	-13%	-33%

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

主要経営指標（直近四半期推移）

- **主要経営指標である、ROE・営業収益経常利益率・コストカバー率は、主に市況の悪化と販管費一時費用の計上等に起因し悪化した。**
- **下記主要経営指標については、今後も注視していく。**

	平成18年3月期	平成19年3月期		
	3月末現在	6月末現在	9月末現在	12月末現在
ROE （自己資本利益率） *年換算	35.1%	24.4%	20.6%	18.0%

※ Meネット証券株式会社との合併による特殊要因を除いた場合、計算上のROEは26.7%となる。

	平成18年3月期				平成19年3月期		
	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）	第4四半期（1-3月）	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）
営業収益経常利益率	54%	55%	66%	60%	59%	52%	45%
コストカバー率（委託手数料/販管費）	194%	211%	257%	227%	189%	158%	126%
コストカバー率（委託手数料/システム関連費）	579%	582%	924%	679%	600%	451%	332%

※ 営業収益経常利益率＝経常利益÷営業収益

※ システム関連費＝不動産関係費＋事務費＋減価償却費

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Ⅱ．決算実績から見た当社ポジショニング

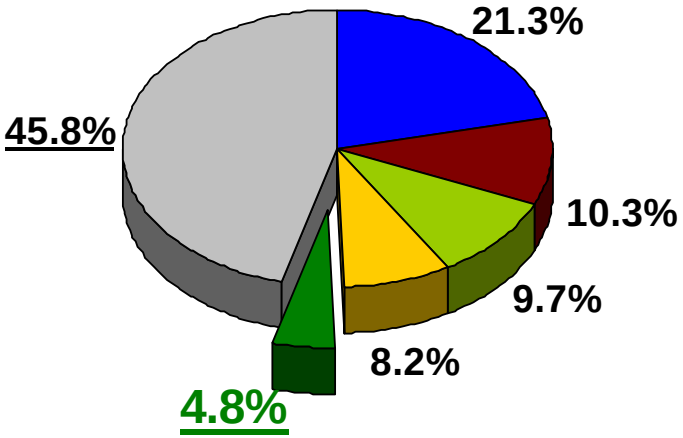
© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

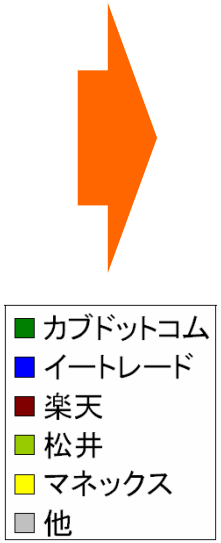
株式個人委託売買代金シェア (四半期推移)

- **オンライン専業証券大手5社のシェアが拡大。(前年同期比で10.5ポイント増)**
- **株式個人委託売買代金に占める当社シェアも着実に拡大。(前年同期比で1.0ポイント増)**

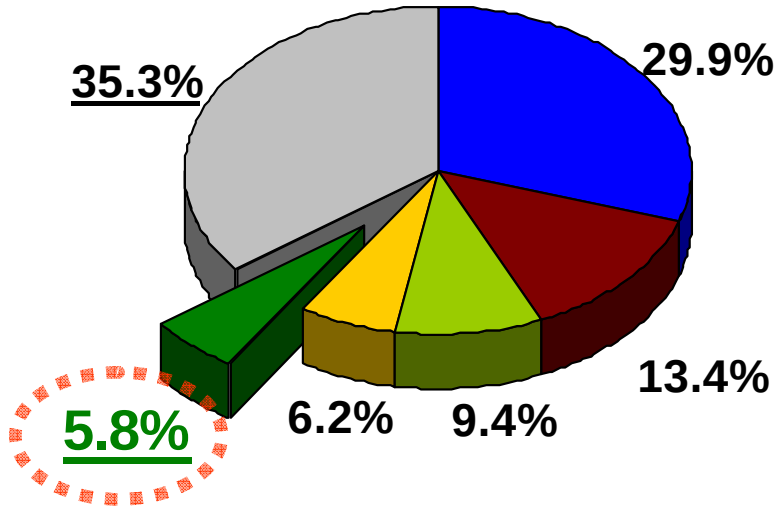
三市場+ジャスダック　株式個人委託売買代金シェア推移

平成18年3月期第3四半期 (10-12月)
オンライン専業証券大手5社計　(54.2%)





平成19年3月期第3四半期 (10-12月)
オンライン専業証券大手5社計　(64.7%)



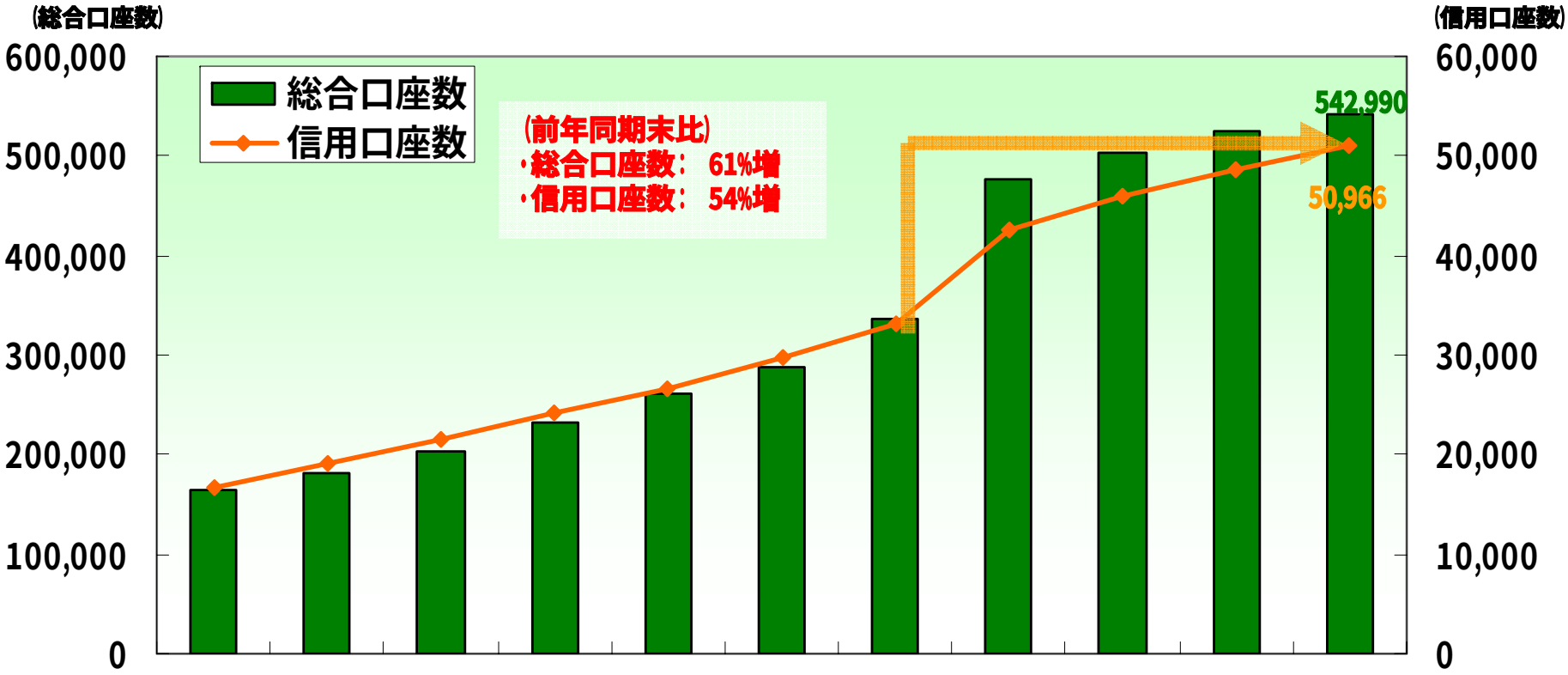
※　東証統計資料、ジャスダック証券取引所統計資料、各社決算短信、各社決算発表資料、各社ホームページ等公表資料により当社にて集計

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd.　All rights reserved.

口座数（四半期推移）

- **当四半期末の総合口座数は542,990口座となった。　（前年同期末比61%増）**
- **当四半期末の信用口座数は　50,966口座となった。　（前年同期末比54%増）**

※　当四半期では1,178件の総合口座抹消を実施。



	平成17年3月期				平成18年3月期				平成19年3月期		
	04/Q1	04/Q2	04/Q3	04/Q4	05/Q1	05/Q2	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3
総合口座数	163,841	181,280	203,589	233,165	262,291	287,987	336,423	475,425	502,327	524,191	542,990
信用口座数	16,787	19,164	21,434	24,185	26,656	29,813	33,122	42,554	45,858	48,616	50,966

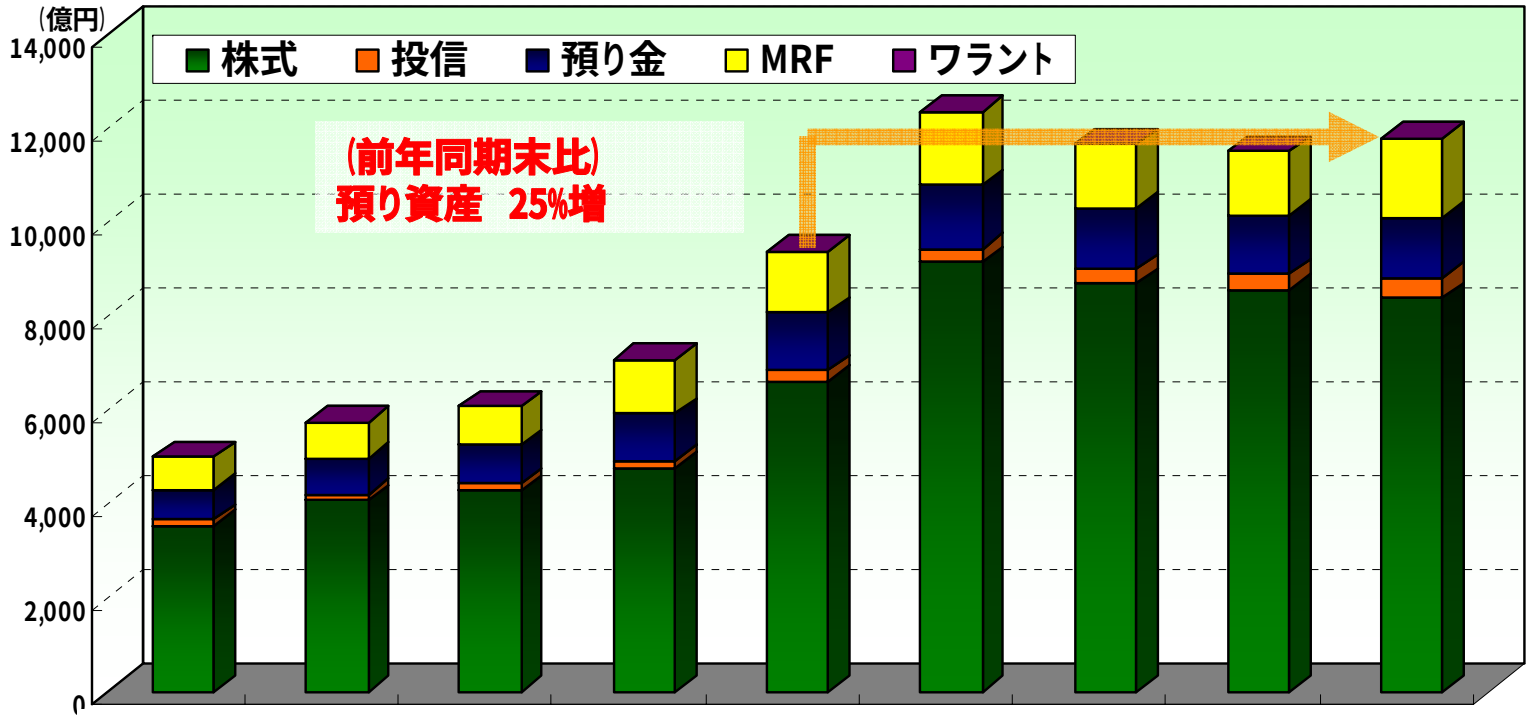
※　総合口座数･信用口座数とも、解約済口座数を除いた純増数から算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd.　All rights reserved.

預り資産（四半期推移）

■ 預り資産は、前年同期末比で25%の増加。

■ 業界最多のノーロード投信販売により、投資信託預り資産は前年同期末比の約2倍。



預り資産の内訳　（単位：億円、切捨）

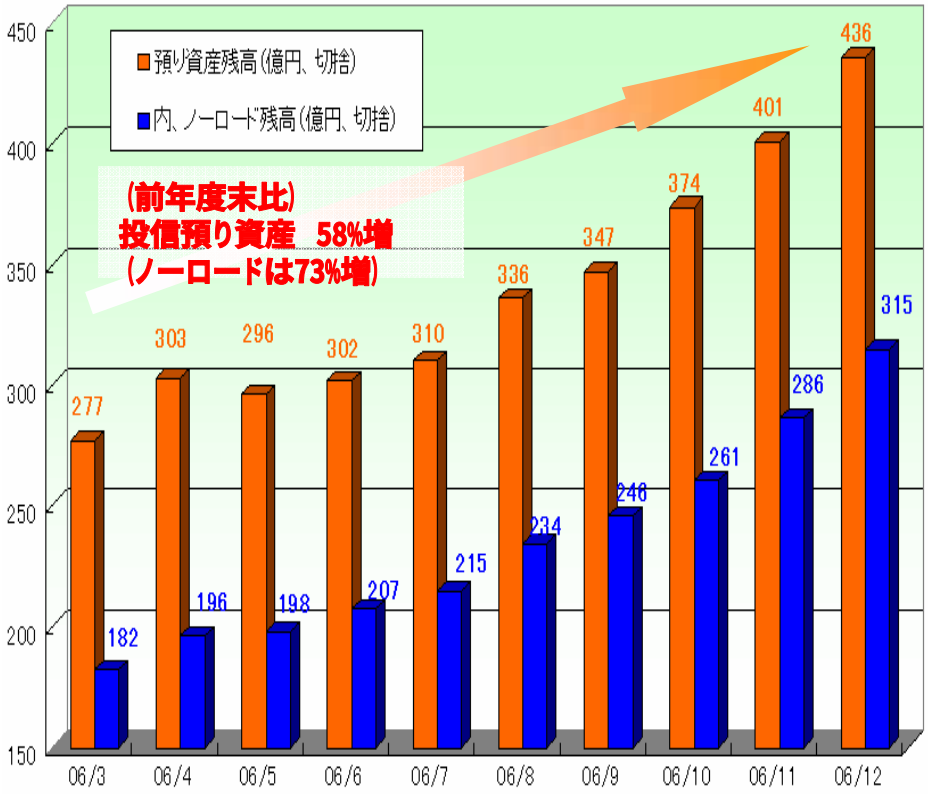
	04/Q3末	04/Q4末	05/Q1末	05/Q2末	05/Q3末	05/Q4末	06/Q1末	06/Q2末	06/Q3末
株式	3,537	4,080	4,291	4,760	6,624	9,159	8,697	8,550	8,392
投信	139	139	144	167	217	277	302	347	436
預り金等	632	754	799	996	1,228	1,352	1,304	1,250	1,282
MRF	689	781	832	1,150	1,311	1,550	1,354	1,357	1,668
ワラント	1	1	1	3	6	6	4	3	2
合計	**5,001**	**5,756**	**6,068**	**7,078**	**9,389**	**12,347**	**11,663**	**11,510**	**11,782**

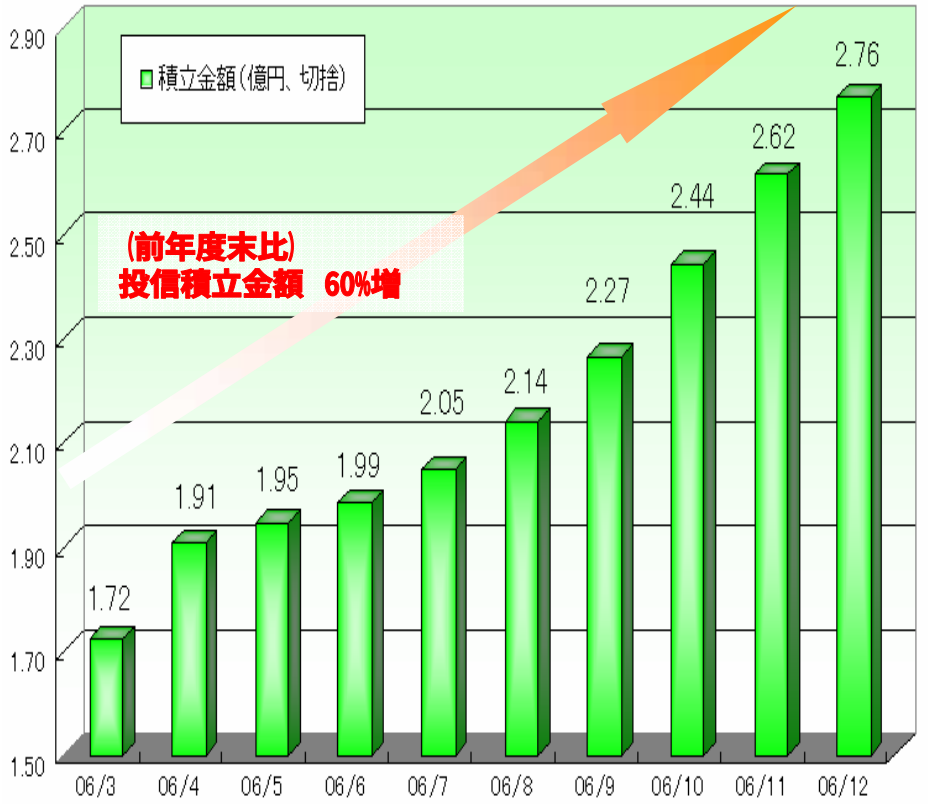
※時価ベースにて算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

投資信託預り資産、及び投信積立金額（月次推移）

- **投資信託預り資産（第３四半期末残）は、前年度末比で58%増となり、月次でも順調に増加。**
- **オンライン専業証券最多水準（42ファンド72本）のノーロード投信の預り資産（第３四半期末残）は、前年度末比で53%増となり、投資信託預り資産全体の約72%を占めるまでに成長。**
- **投信積立機能（銀行等からの自動引落し）により、投信積立金額も順調に増加。第３四半期末の積立金額は、前年度末比で60%増加。**



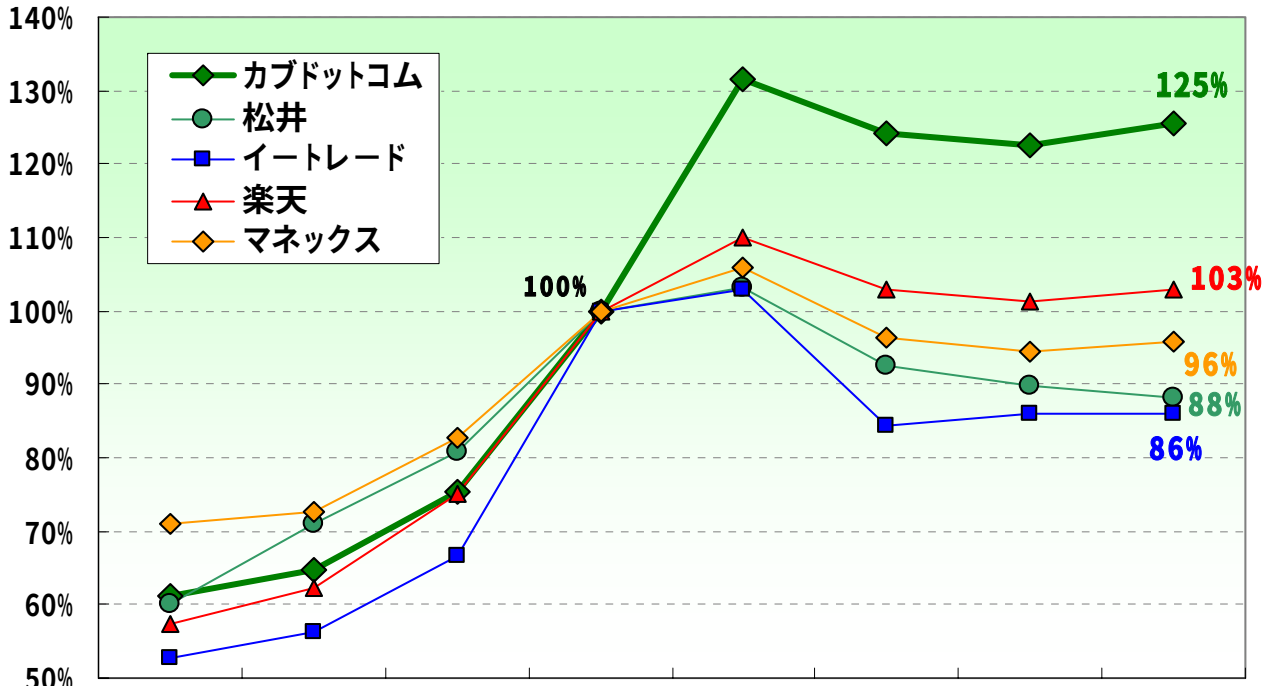


※　預り資産残高（月末）は、時価ベースにて算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd.　All rights reserved.

預り資産(四半期推移/他社比較)

■ 預り資産（期末残）について、前年同期末の2005年12月末を起点（100%）とした場合の伸び率において、当社が25%増と、オンライン専業証券大手5社で最も高い数値となった。



預り資産の内訳　(単位:億円)

	05/3末	05/6末	05/9末	05/12末	06/3末	06/6末	06/9末	06/12末
カブドットコム	5,756	6,068	7,078	9,389	12,347	11,663	11,510	11,782
松井	11,303	13,327	15,166	18,797	19,377	17,412	16,876	16,568
イートレード	23,400	25,062	29,631	44,475	45,825	37,566	38,284	38255
楽天	7,206	7,828	9,415	12,543	13,803	12,895	12,713	12,910
マネックス	15,050	15,427	17,563	21,220	22,487	20,446	20,037	20,344

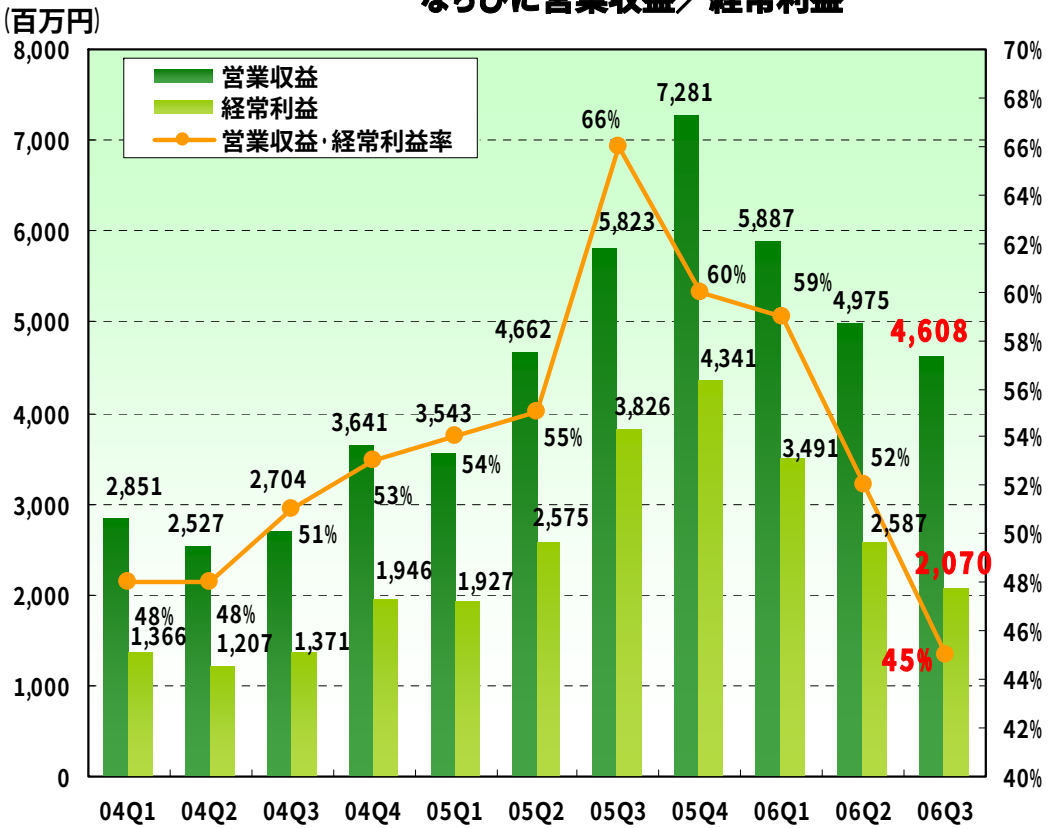
※各社ホームページ等公表資料より当社作成。※2006年12月末預り資産金額に関し、松井、イートレードは、当資料公表時に未開示。
※時価ベースにて算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

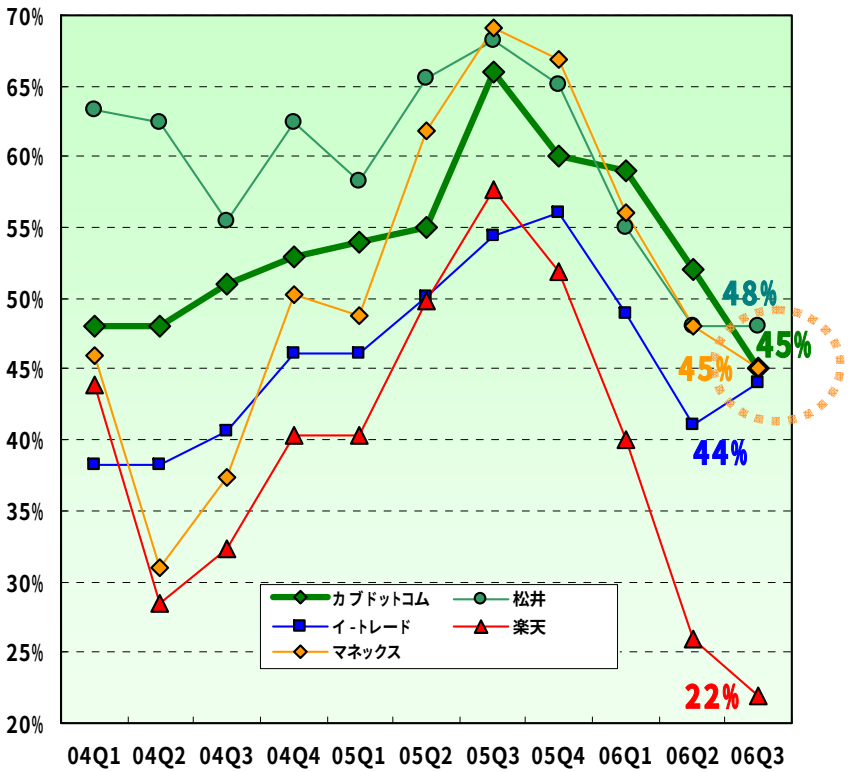
営業収益経常利益率 (四半期推移)

■ **三市場株式個人委託売買代金の悪化に加え、信用手数料の大幅な値下げの実施、及び当四半期の販管費一時費用の発生により、営業収益経常利益率は45%となった。**

営業収益経常利益率 ならびに営業収益／経常利益



オンライン専業証券大手5社 営業収益経常利益率の推移



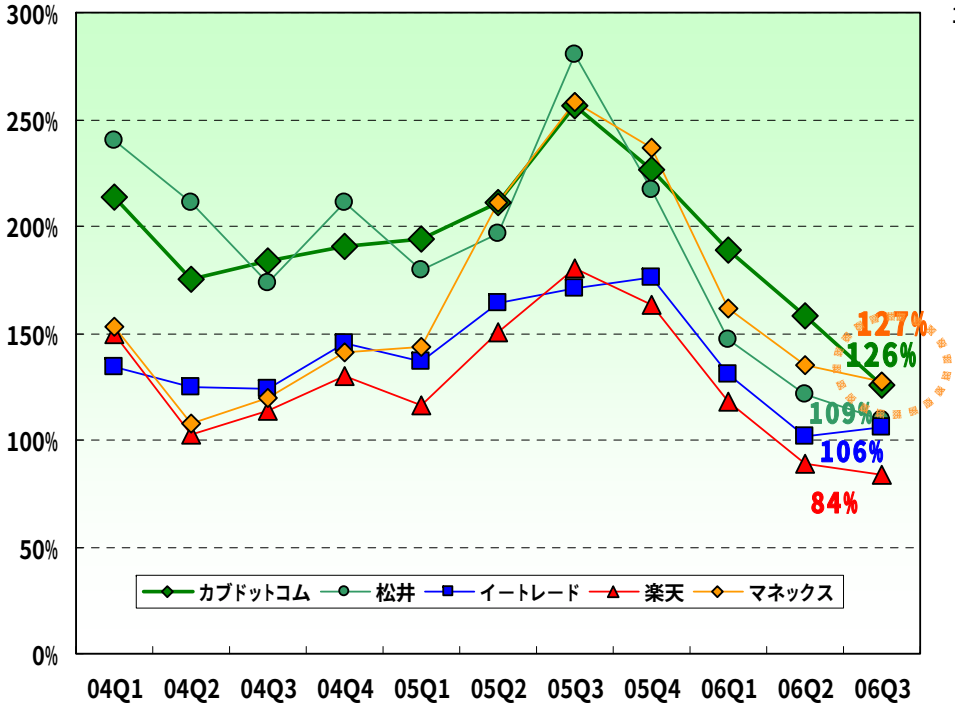
※各社ホームページ等公表資料より当社作成
※営業収益経常利益率は、四半期毎の営業収益、経常利益で算出
※マネックスの合併前数値については、マネックス＋日興ビーンズの両社の単純合算値から算出
※楽天は、楽天証券 (個別) の決算発表数値より算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

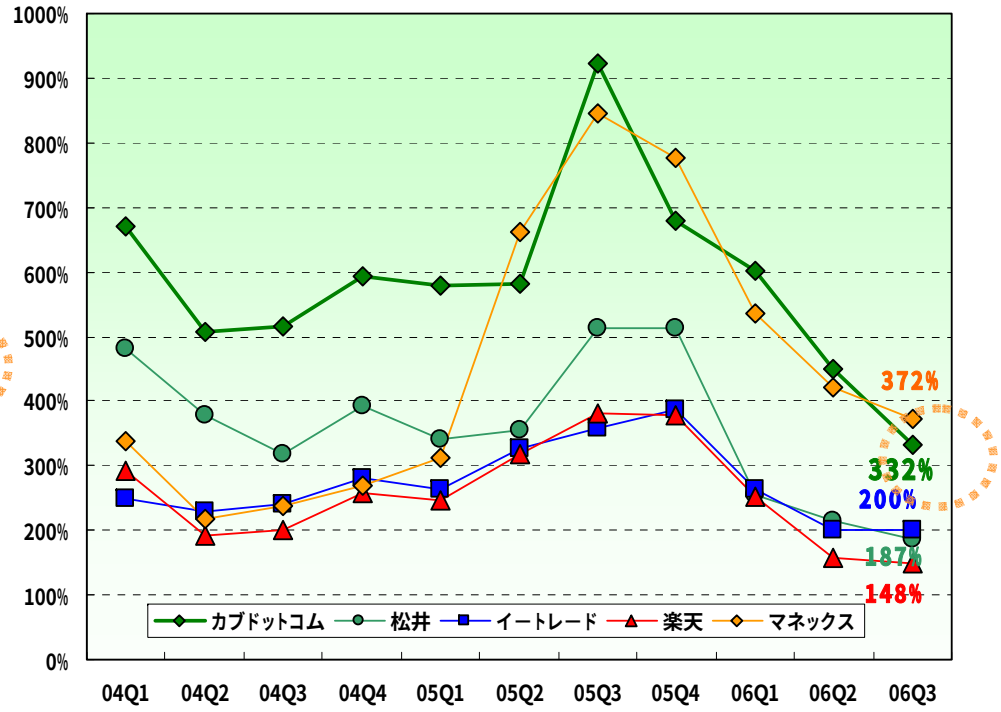
コストカバー率 (四半期推移)

- **販管費一時費用の発生等により指標は下がったものの、前四半期との比較においてはオンライン専業証券大手5社中上位を保っている。**
- **販管費抑制を図るとともに、今後も効率化経営の指標として引き続きコストカバー率を注視していく。**

コストカバー率　(委託手数料/販管費率)



コストカバー率　(委託手数料/システム関連費率)

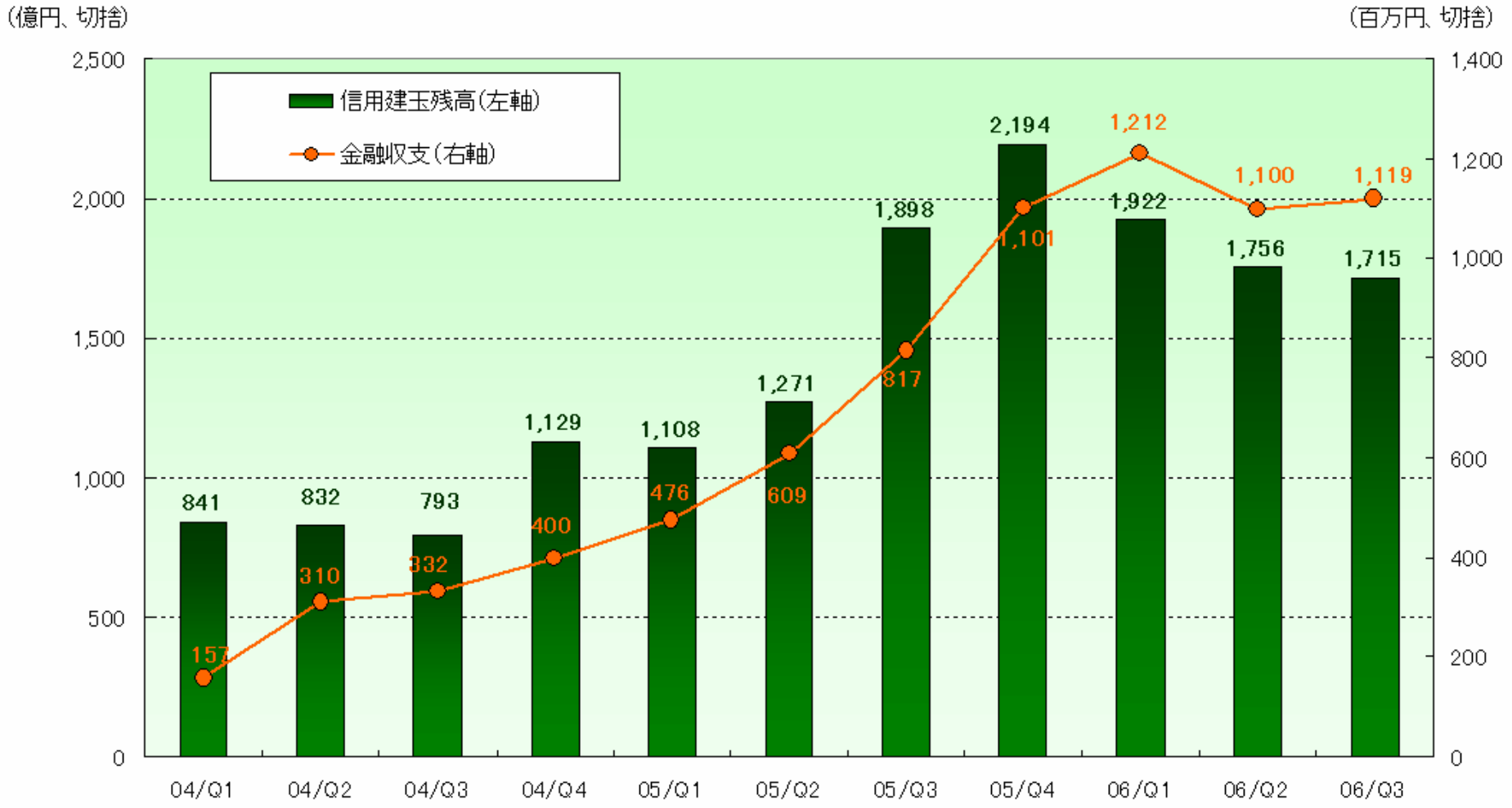


※各社開示資料より当社算出
※システム関連費＝不動産関係費＋事務費＋減価償却費
※マネックスの合併前数値については、マネックス＋日興ビーンズの両社の単純合算値から算出
※楽天は、楽天証券 (個別) の決算発表数値より算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

金融収支と信用建玉残高 (四半期推移)

■ 自己資金活用や低金利での資金調達の他、8月に開始した貸株の調達効果も寄与し金融収支が前年同期比で37%増加。



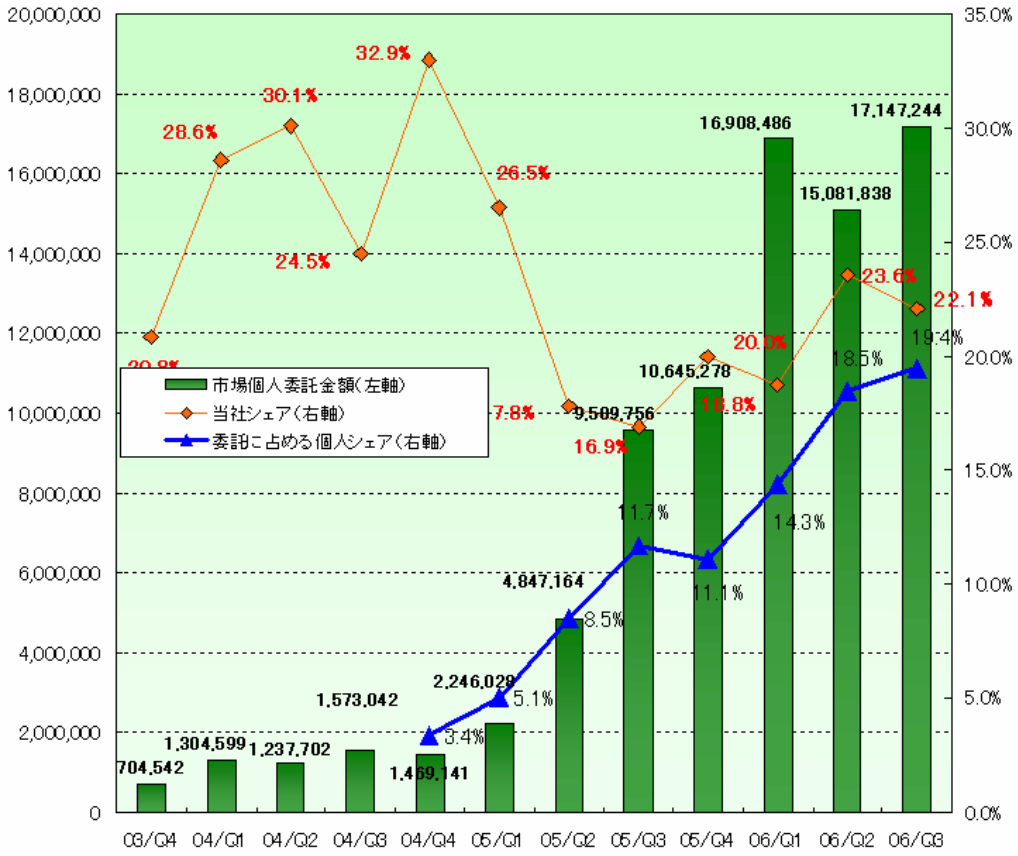
※信用建玉残高は各期末の受渡ベースの数値

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

先物･オプション市場(個人)(四半期推移)

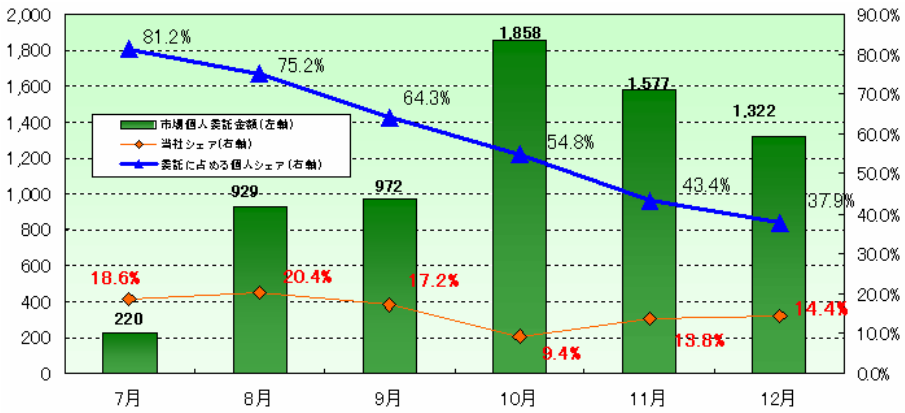
- **先物市場の個人委託金額が増加、着実に個人投資家に浸透している。**
- **当社シェアも高水準で安定し推移。第3四半期（10-12月の）当社シェアは、日経225先物22.1%、日経225mini（個人）12.5%、日経225オプション14.0%となった。**
- **TOPIX（個人）はオンライン専業証券大手で唯一取扱いを行なっている。**

日経225先物取引シェアの推移

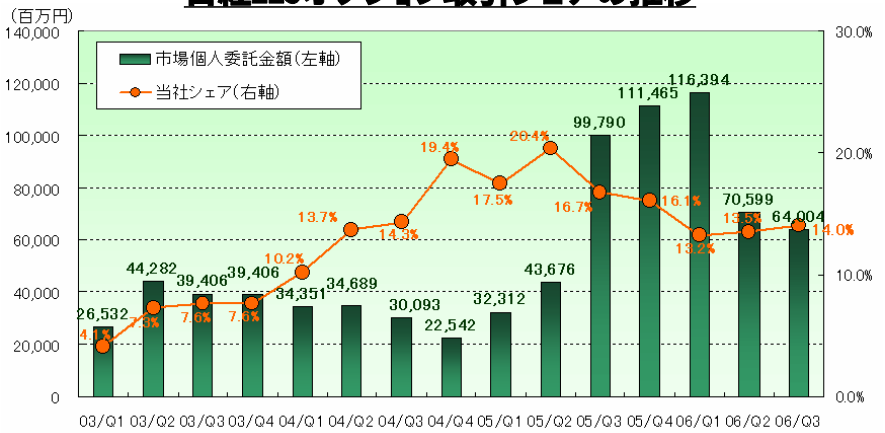


※ 大阪証券取引所公表数値より当社算出

日経225miniの推移



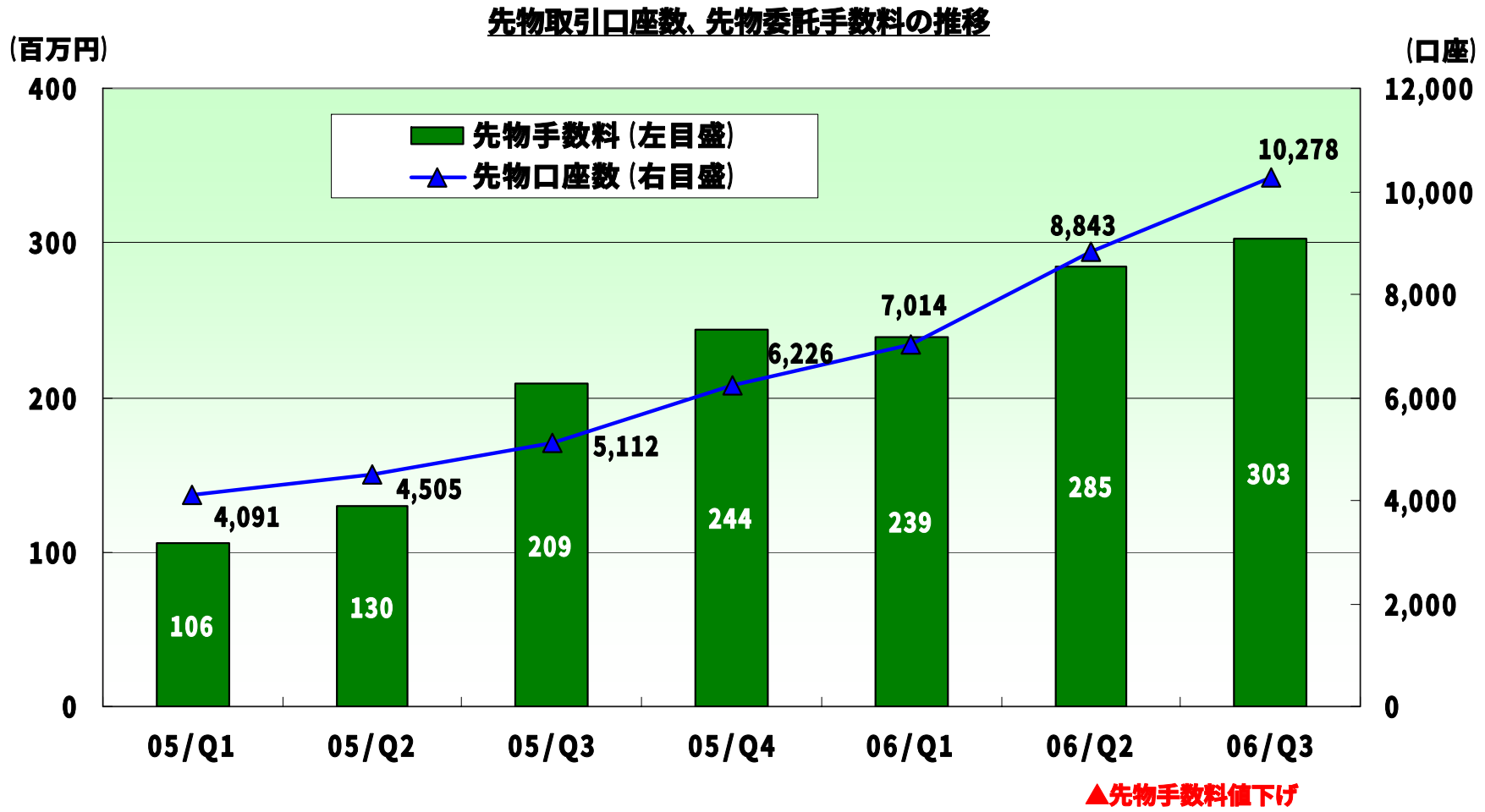
日経225オプション取引シェアの推移



© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

先物取引口座数と先物委託手数料 (四半期推移)

- **先物取引口座数は前年同期比で約2倍となり、10,000口座を超える。**
- **先物市場の委託手数料も前年同期比45%増と着実に増加。**
- **必要証拠金には現金の他、「株式」も利用可能であることが増加の一因。**
- **7月18日よりワンウェイ手数料を廃止、日経225先物委託手数料を往復で6%値下げ。**



© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

三菱UFJフィナンシャル・グループとの連携強化

- **第3四半期（4-12月）においては、グループ各社との新サービスを数多く実現した。**
- **第4四半期以降も新サービスが予定されており、今後も引き続き、三菱UFJフィナンシャル・グループ間の連携強化に一層努めていく。**

第3四半期（4-12月）の主な取組み

三菱UFJフィナンシャル・グループ

- 株主推進割引の銘柄に追加～現物株式買付手数料を10%割引

三菱東京UFJ銀行

- kabu.comカードと三菱東京UFJ銀行「スーパーICカード」/「ICキャッシュカード」の入金機能等の利便性強化（Edyチャージ）
- 証券仲介サービス
  - ・新規獲得口座の10%以上が三菱東京UFJ銀行経由
  - ・UFJ NICOSと合わせ、受入手数料に占める証券仲介のシェアは3%程度に

三菱UFJ信託銀行

- 団塊/シニア世代顧客向け会員組織「カブコム マスターズ倶楽部™」設立

UFJ NICOS

- 証券仲介サービス開始
- 株主推進割引の銘柄に追加～現物株式買付手数料を10%割引
- 提携カード「kabu.comカード」発行
- 取引手数料の1%を電子マネー“Edy”にてキャッシュバック

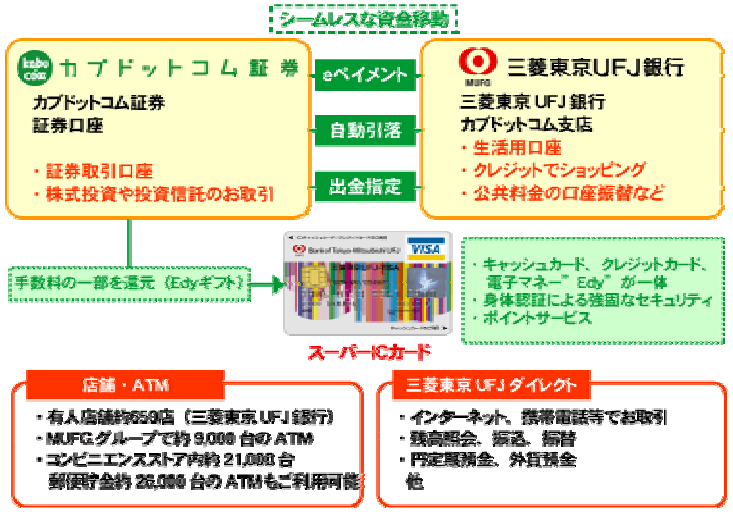
三菱UFJ証券

- 株式等の引受業務に関する包括業務提携（IPO/PO取扱銘柄大幅拡大）
- 三菱UFJ証券リサーチレポートを顧客へ無料提供

第4四半期以降に予定している主な取組み

三菱東京UFJ銀行

- 三菱東京UFJ銀行を所属銀行とした銀行代理業の許可取得済（12/22）～カブドットコム支店開設



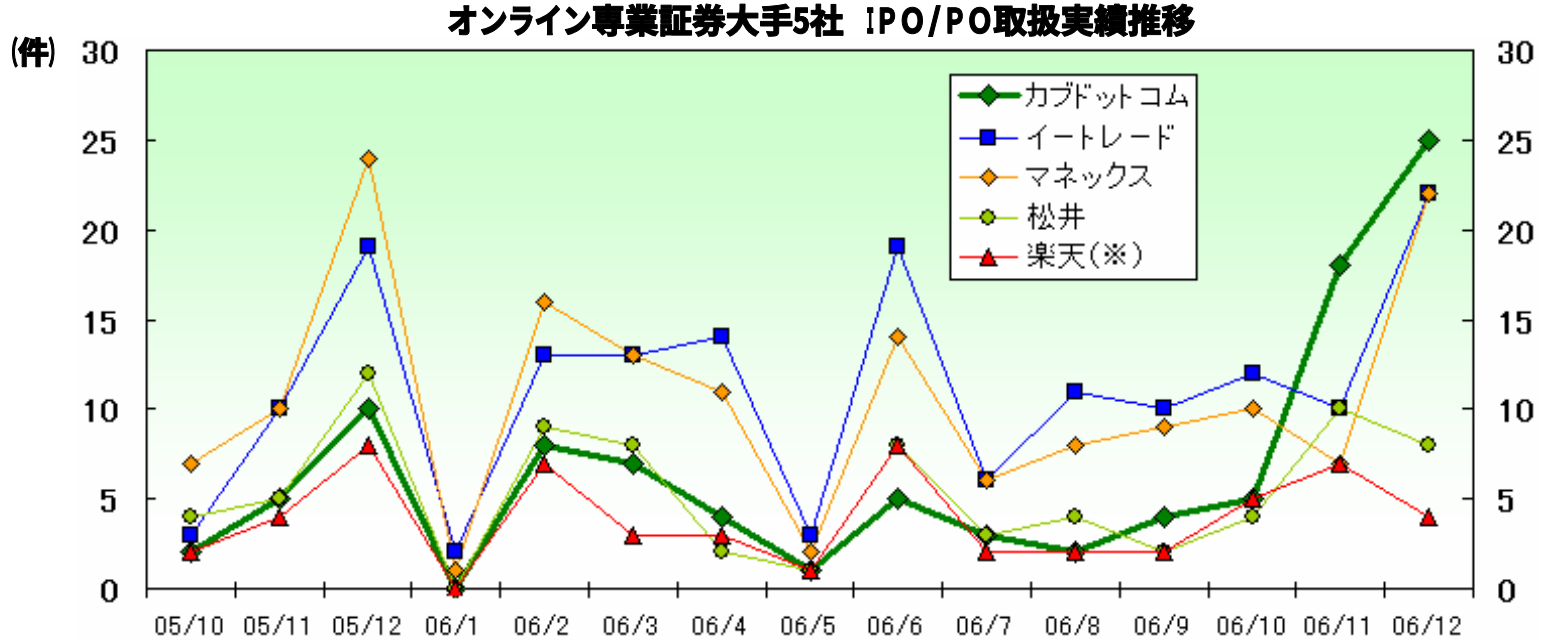
三菱UFJ証券

- 夜間取引市場「kabu.comPTS」への参加

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

IPO/PO取扱い件数(四半期推移)

- **2006年9月に三菱UFJ証券と「株式等の引受業務に関する包括業務提携」を締結。**
- **新規公開株/公募・売出(IPO/PO)の取扱い件数は飛躍的に拡大し、オンライン専業証券大手5社でトップクラスに。**



	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3
カブドットコム	17件	15件	10件	9件	48件
イートレード	32件	28件	36件	27件	44件
マネックス	41件	30件	27件	23件	39件
松井	21件	17件	11件	9件	22件
楽天(※)	14件	10件	12件	6件	16件

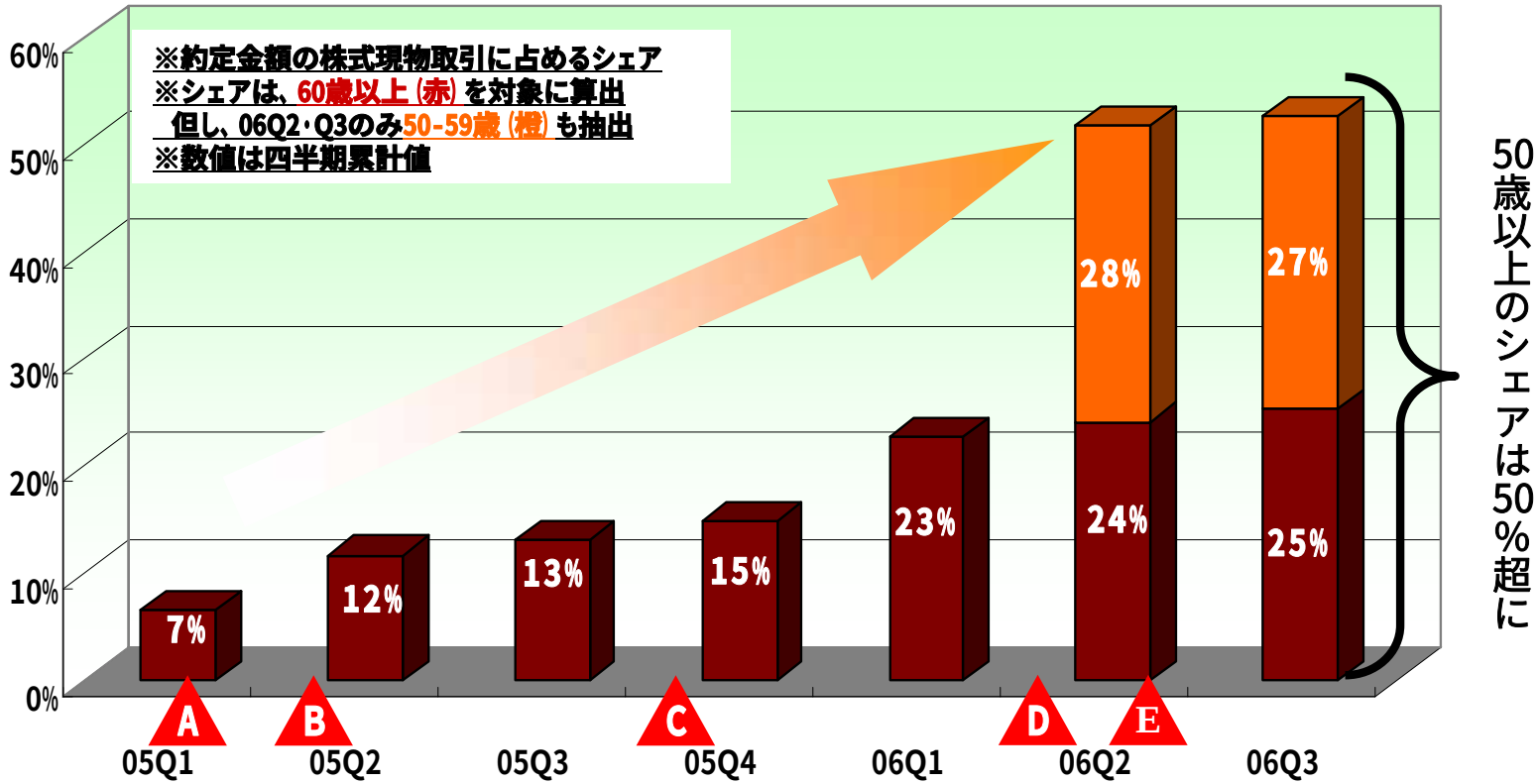
※ 各社ホームページ等公表資料により当社にて集計

※ 楽天証券のPO(公募/売出)取扱件数は公表されておらず、公表されているIPO取扱件数のみで資料を作成

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

シニア層のシェア推移 (四半期推移)

■ シニア層へのアプローチに連動し、順調にシェアが拡大、第3四半期も高水準で推移



A： 2005/5　「シニア割引」(60歳以上対象)を新設　(満60歳以上の株式現物取引手数料を10%割引)
B： 2005/7　旧UFJ銀行(現三菱東京UFJ銀行)と「インターネット証券仲介」を開始
C： 2006/1　「シニア割引」が「日経優秀製品・サービス賞2005最優秀賞」を受賞
Meネット証券との合併によりシニア層の口座割合増加
D： 2006/7　「シニア割引」を50歳以上に拡大　(満50歳以上満60歳未満の株式現物取引手数料を5%割引)
E： 2006/9　三菱UFJ信託銀行と提携、団塊/シニア世代顧客向け会員組織「カブコム マスターズ倶楽部™」を設立

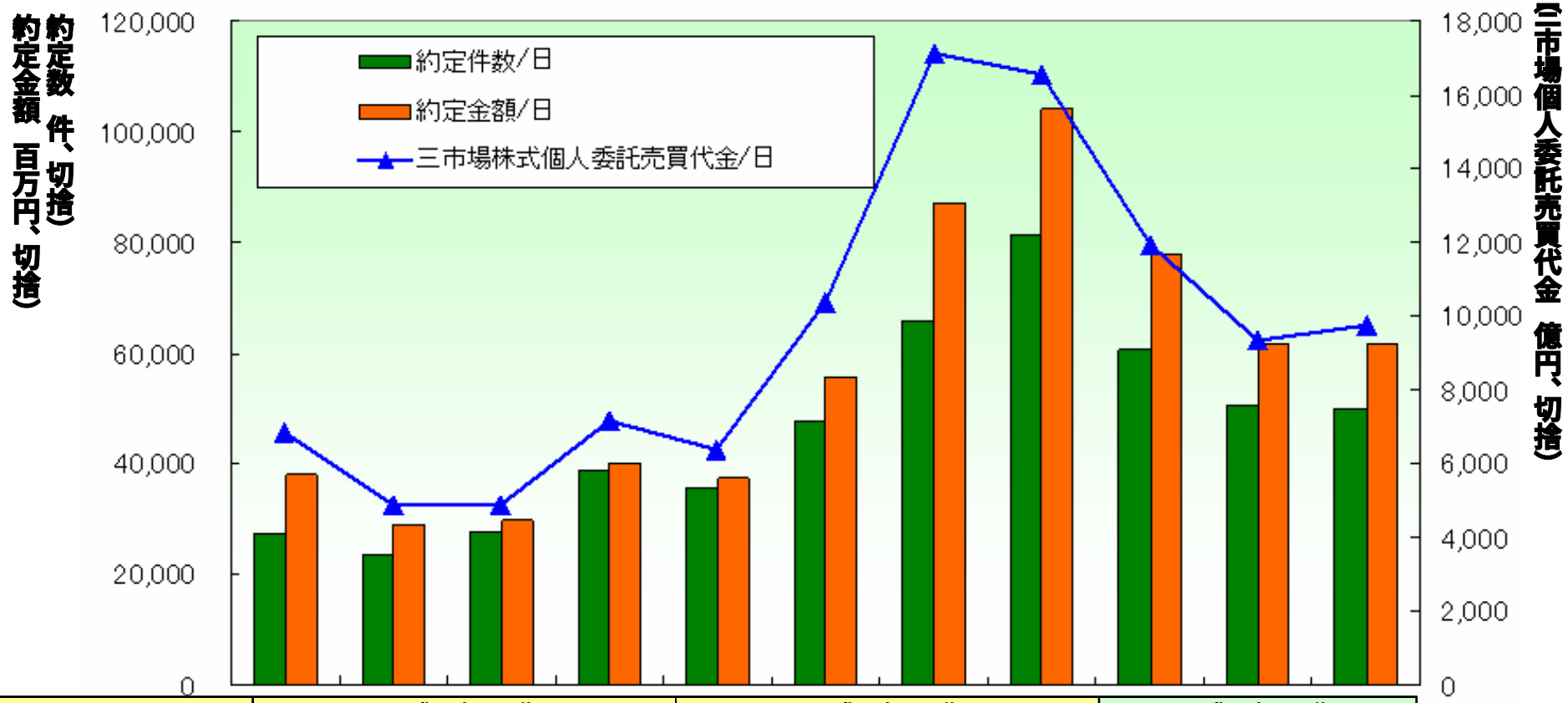
© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

III. 営業数値概況

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

1日当たり株式約定数･約定金額

■ 約定数、約定金額とも、三市場に連動し推移。



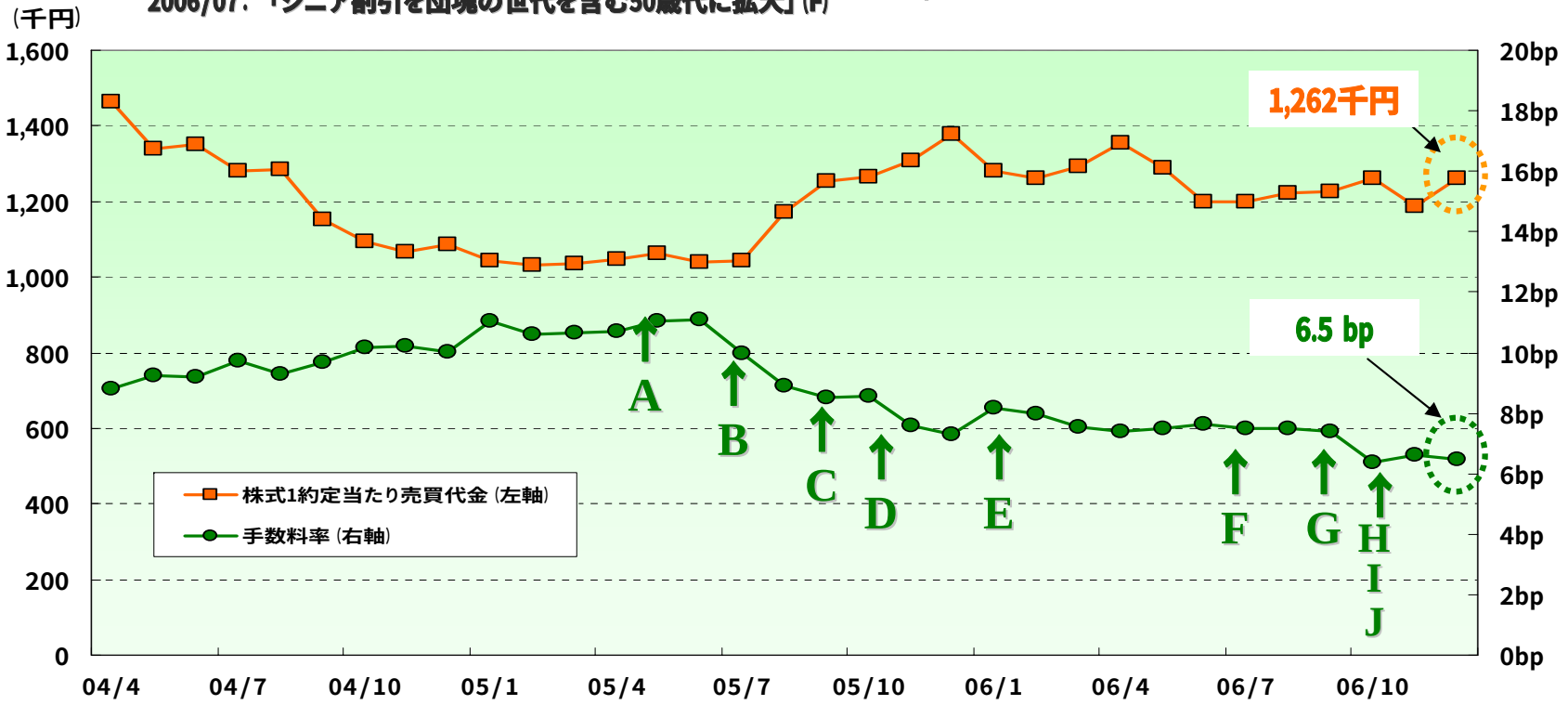
	平成17年3月期				平成18年3月期				平成19年3月期		
	04/Q1	04/Q2	04/Q3	04/Q4	05/Q1	05/Q2	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3
約定件数/日	27,403	23,465	27,581	38,845	35,633	47,746	65,763	81,359	60,633	50,578	49,666
約定金額/日	38,157	29,012	29,821	40,267	37,369	55,715	87,113	103,928	77,892	61,538	61,519
三市場株式個人委託売買代金/日	6,847	4,856	4,885	7,175	6,368	10,372	17,097	16,533	11,931	9,313	9,777

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

手数料率と株式1約定当たり売買代金

- **収益性を勘案しつつ、適宜手数料体系の見直しを予定。**
- **10月に信用手数料を大幅に下げた(下記H)ことに加え、第3四半期は手数料率の低い信用取引の比率が微増したため、手数料率は6.5bpとなった。**

2005/05：「シニア割引(60歳以上)、株主推進割引：当社」(A)
2005/07：「信用手数料の値下げ」(B)
2005/10：「株主優待割引」(C)
2005/11：「現物株式・プチ株の委託手数料値下げ」(D)
2006/02：「信用手数料のワンウェイ手数料改定」(E)
2006/07：「シニア割引を団塊の世代を含む50歳代に拡大」(F)
2006/09：「kabu.comPTSみなやかんキャンペーン」(G)
2006/10：「信用手数料大幅下げ、ワンウェイ手数料廃止」(H)
(約定代金50万円以下は49%の値下げ)
2006/10：「株主推進割引：MUFG、UFJニコスを追加」(I)
2006/10：「夜間取引＋取引所」の連携注文で、378円キャッシュバック」(J)

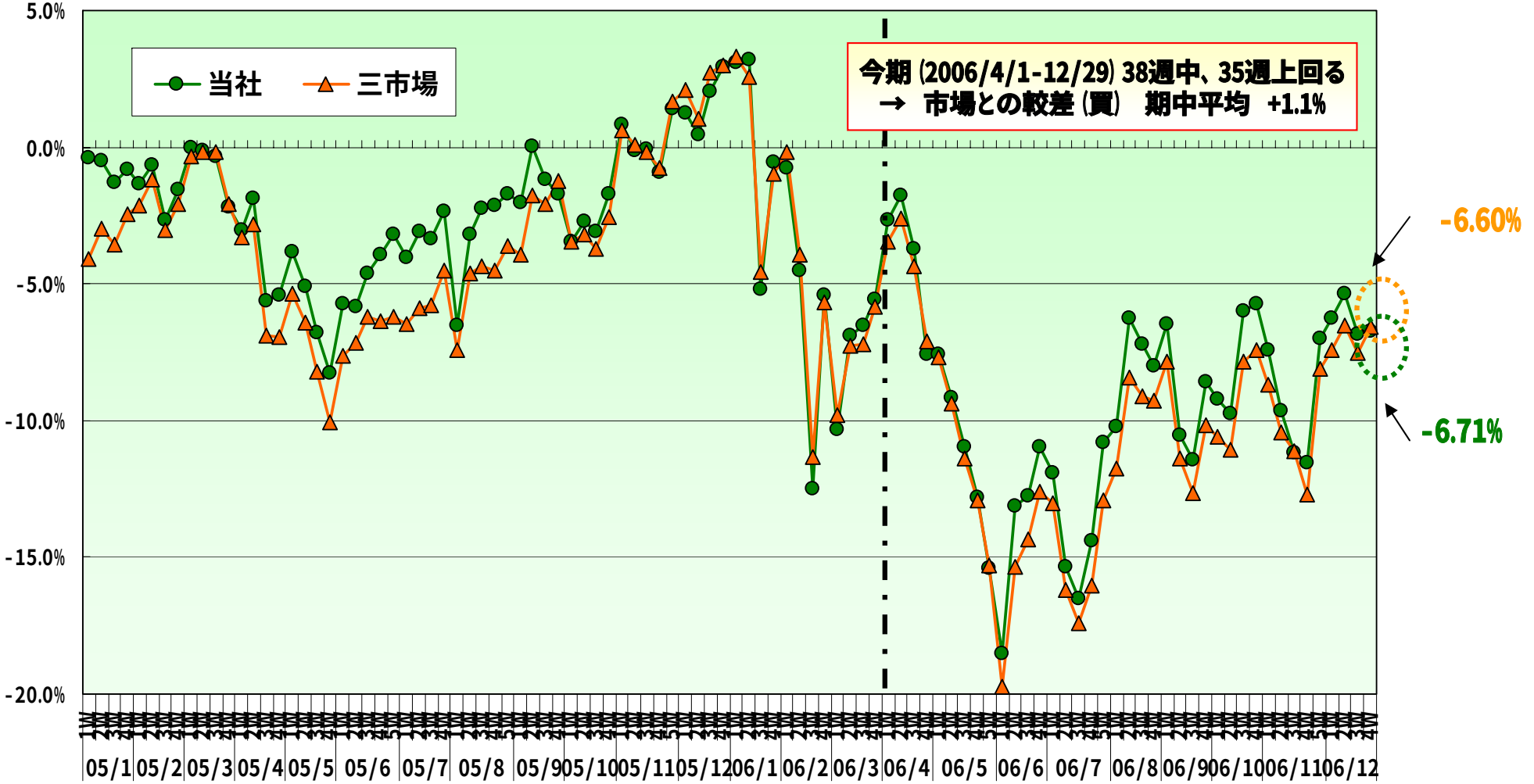


※手数料率は、株式委託手数料÷株式約定金額　にて算出

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

信用評価損益率（買建のみ）

■ 当社お客様の信用取引（買建のみ）の成績は、今年度も三市場をほぼ上回る推移となっている。



※ 東京証券取引所公表数値より当社算出
※ 三市場、当社ともに信用評価損益率は、［評価損益率＝評価損益（買建のみ）÷信用建玉残高（買建のみ）］ の数式にて算出
※ グラフは、三市場、当社ともに各週末の信用評価損益率を表したもの

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

株券差引入庫額（1）

■ 第3四半期の入出庫合計額は、前四半期より増加し、111億円の入庫額超過となった。他社からの振替入庫額が増加し入庫超過が約72億円であった一方、タンス株の直接入庫額は40億円弱となり減少した。

■ 振替差引入庫額の内訳としては、証券大手3社からの入庫超過額が約31億円（前四半期比39%増）、その他証券会社からは約41億円（前四半期比62%増）と大きく増加した一方、オンライン専業証券大手4社は減少し、1億円弱の出庫超過となった。

（単位：百万円）

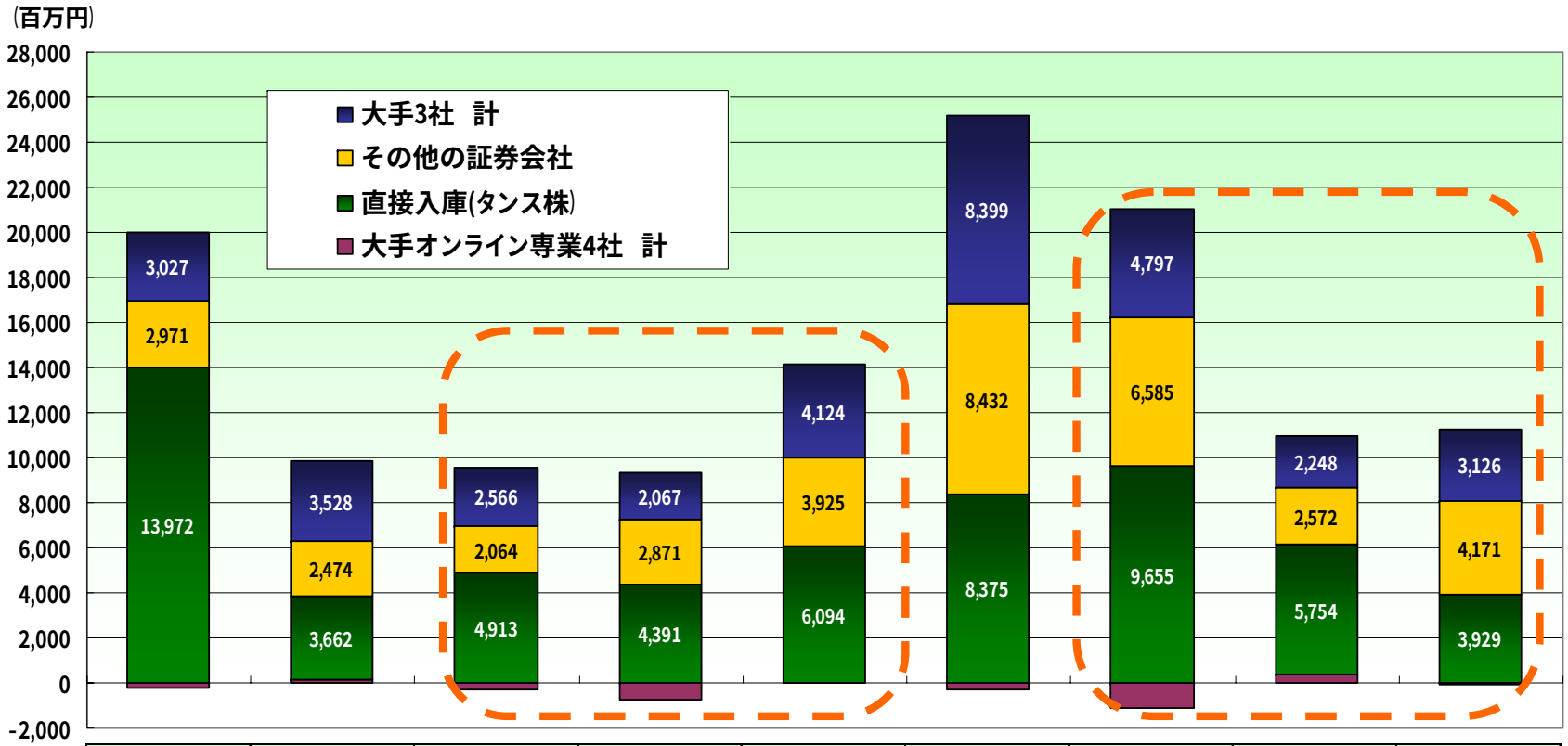
	04/Q3	04/Q4	05/Q1	05/Q2	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3
A証券	429	262	12	250	317	249	-163	14	764
B証券	-709	-715	-646	-751	-734	-1,048	-911	74	-520
C証券	-63	280	69	-287	-43	-89	-121	-166	-170
D証券	145	345	265	50	465	579	110	436	-159
オンライン専業大手4社　計①	-197	171	-300	-738	6	-310	-1,084	357	-86
X証券	1,523	1,851	1,668	1,385	2,767	6,133	2,537	699	1,193
Y証券	909	834	600	283	412	580	514	603	434
Z証券	594	843	298	398	946	1,686	1,745	947	1,499
大手3社　計②	3,027	3,528	2,566	2,067	4,124	8,399	4,797	2,248	3,126
その他証券会社③	2,971	2,474	2,064	2,871	3,925	8,432	6,585	2,572	4,171
振替差引入庫額①+②+③	5,800	6,172	4,330	4,199	8,055	16,521	10,297	5,177	7,212
直接入庫額④	13,972	3,662	4,913	4,391	6,094	8,375	9,655	5,754	3,929
合計　(①+②+③+④)	19,772	9,835	9,243	8,589	14,149	24,895	19,953	10,931	11,142

※ 株式差引入庫額は、「他社から当社への入庫額－当社から他社への出庫額」にて算出
※ 入庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

株券差引入庫額 (2)

■ **第３四半期 (4-12月累計) では、入庫超過額は約420億円と前年同期比で31%増加した。**



	04/Q3	04/Q4	05/Q1	05/Q2	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3
オンライン専業大手4社　計	-197	171	-300	-738	6	-310	-1,084	357	-86
直接入庫(タンス株)	13,972	3,662	4,913	4,391	6,094	8,375	9,655	5,754	3,929
その他の証券会社	2,971	2,474	2,064	2,871	3,925	8,432	6,585	2,572	4,171
大手3社　計	3,027	3,528	2,566	2,067	4,124	8,399	4,797	2,248	3,126
合計	19,772	9,835	9,243	8,589	14,149	24,895	19,953	10,931	11,142

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Ⅳ. 第３四半期の取り組み等

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

第3四半期（4-12月）の主な取り組み

	お客様サービス向上に向けた取り組み	取得・受賞・その他
Q1	・国際投信の当社取扱い全ファンドを手数料無料（ノーロード）化（4月） ・証券会社初、事業継続計画(BCP)実現のため、自社で本格的な遠隔地・災害復旧(DR)サイトとして第2のビジネス拠点「福岡システムセンター」を開設（4月） ・新規取扱いを含め「6ファンド10本」を新たに手数料無料（ノーロード）化（5月） ・シャープ「インターネットAQUOS」から口座開設/ネット株取引の開始（5月） ・証券会社初、証券総合口座からの電子マネー「Edy」への出金サービス開始（6月） ・証券会社初、複数チャートの同時表示を可能にした株価分析iアプリの提供開始（6月） ・新売買監視システムの導入（6月）	・Gomez2006年モバイルオンライン証券ランキング総合第1位（4月） ・日本格付研究所（JCR）より長期優先債務格付BBB+取得（4月） ・日本格付研究所（JCR）より短期優先債務格付J-2取得（5月） ・創業来初の期末配当を実施（1株2,300円）（6月） ・第7回定時株主総会、2006年度カブ四季総会（東京）開催（6月）
Q2	・UFJニコスとの証券仲介サービス開始（7月） ・「日経225mini先物取引」の開始および「日経225先物取引」の手数料値下げ（7月） ・「シニア割引」の対象を50歳以上へ拡大（7月） ・国内初、競売買（オークション）による私設取引システム（PTS）業務の認可取得（7月） ・三菱UFJ信託銀行と団塊/シニア世代顧客向け会員組織「カブコムマスターズ倶楽部TM」を設立（9月） ・上場法人・適格機関投資家向けに「法人口座」を拡充（9月） ・金融機関初、NTTドコモのiチャネルTM向けに「kabu.comチャネル」を提供（9月） ・夜間取引市場「kabu.comPTS」業務開始、株価指数「kabu.comPTS指数」を算出公表（9月） ・三菱UFJ証券株式会社との株式等引受業務の提携範囲拡大に合意（9月）	・国内証券初、情報セキュリティ管理の国際規格「ISO/IEC27001：2005」認証を取得（8月） ・金融機関初、ITサービス管理の国際規格「ISO/IEC20000-1：2005」認証を取得（8月） ・2006年度カブ四季総会（大阪）開催（9月） ・第45回　電話応対コンクール東京中央地区大会（個人戦）　～5年連続入賞　（9月）
Q3	・「株主推進割引」対象銘柄に「三菱UFJフィナンシャル・グループ」「UFJニコス」を追加　（10月 ） ・信用取引手数料大幅値下げ（約定代金50万円以下は49%の値下げ）　（10月 ） ・ネット証券最多、一般信用取引の売建可能銘柄を692銘柄に拡大（11月） ・夜間取引市場「kabu.comPTS」：取引時間の延長ならびに取扱銘柄数を拡大　（11月） ・三菱東京UFJ銀行を所属銀行とした銀行代理業の許可取得　（12月） ・夜間取引市場「kabu.comPTS」対応kabuマシーンとスーパーチャートの提供　（12月） ・J-REITや豪ドル債ファンドなど投資信託8ファンド16本追加、226本に　（12月）	・「第10回業種別企業電話応対コンテスト　金融部門」 優良賞受賞　～5年連続の入賞　（11月） ・2006年度カブ四季総会（名古屋）開催（11月） ・自動売買（逆指値）関連の特許権取得（11月）

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

ＩＲ活動状況

■ 平成19年3月期 (4-12月)

2006年4月20日	・ 株式会社日本格付研究所 (JCR) より長期優先債務格付け取得： BBB+ (見通し：安定的)
2006年5月25日	・ 東京証券取引所「上場有価証券の発行者による会社情報の適時開示等に関する規則」に基づき「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を提出
2006年5月29日	・ 株式会社日本格付研究所 (JCR) より短期優先債務格付取得： J-2
2006年6月25日	・ 第7回定時株主総会／カブ四季総会 (東京) 開催
2006年6月30日	・ 経済産業省「知的財産情報開示指針」に準拠した「知的財産報告書」を作成
2006年9月3日	・ カブ四季総会(大阪) 開催
2006年9月15日	・ 夜間取引市場「kabu.comPTS」サービス開始＆記者会見
2006年11月2日	・ 品質管理システムの半期毎の活動報告「品質管理システム報告書」を作成
2006年11月19日	・ カブ四季総会 (名古屋) 開催

■ 平成19年3月期：今後のIR活動

2007年1月22日	・ 平成19年3月期 第3四半期決算発表 (本日)
2007年2月6日	・ アナリスト向け説明会 (予定)
2007年2月10日	・ カブ四季総会 (福岡) 開催 (予定)
2007年4月下旬	・ 平成19年3月期 決算発表 (予定)

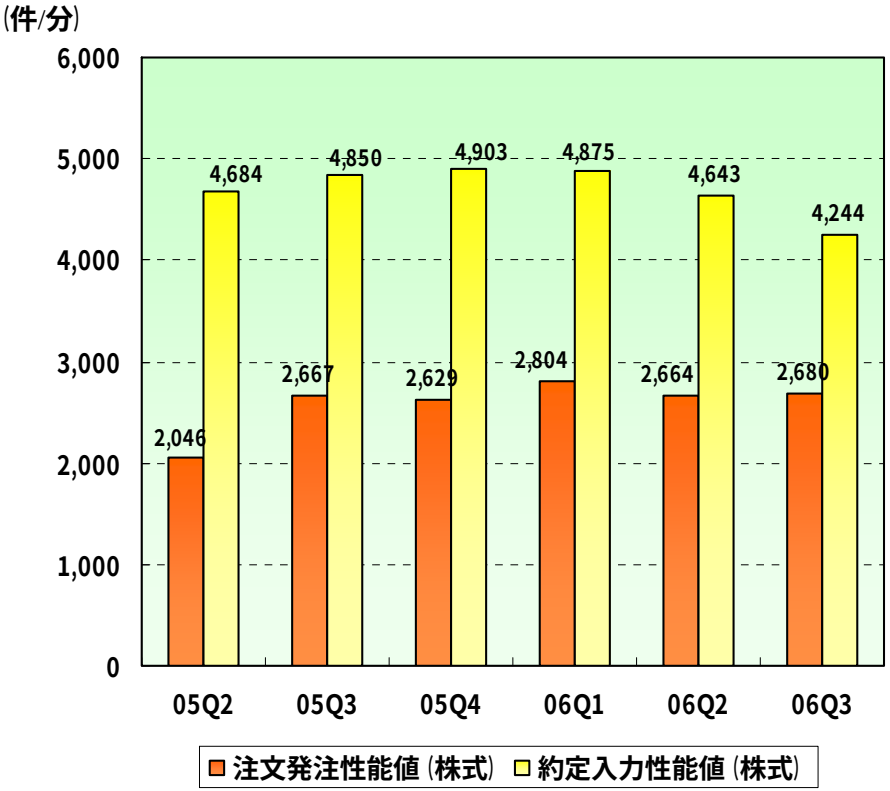
当社は株主様や投資家の皆様へのアカウンタビリティを経営上非常に重要な事項と認識し、経営及び業務に関する幅広い情報についてタイムリーな開示を実施しております

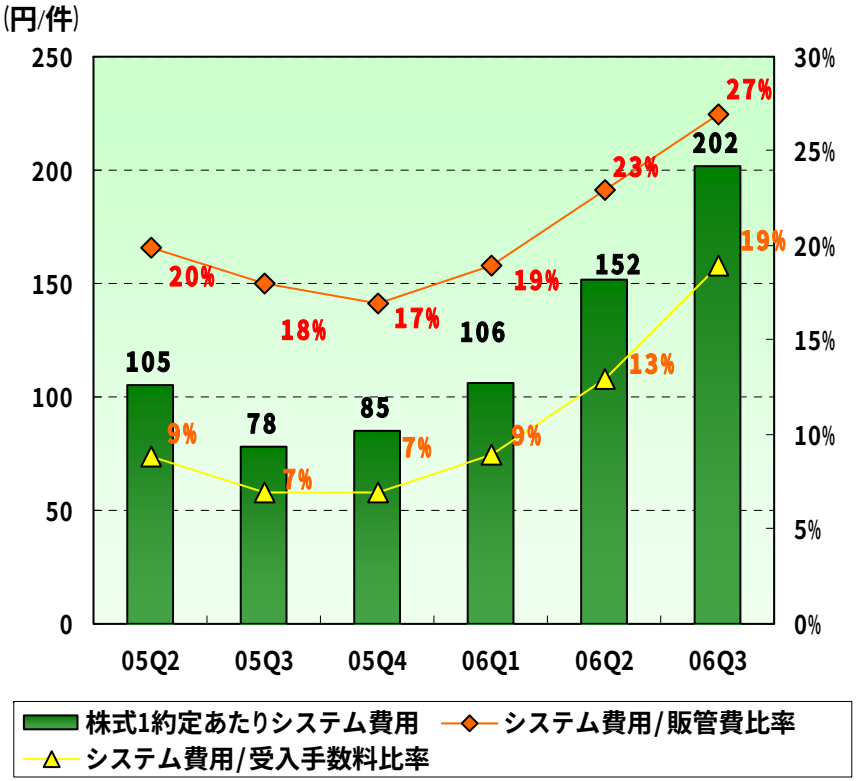
© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

システム関連の開示 (1)

■ システムの処理性能及び費用対効果の実績について

- 今年度に入り株式取引量が安定し推移する中で、「kabu.comPTS」を稼働した9月15日以降、大きなシステム設備増強投資を行っていないものの、処理性能は充分余力を持った状態で推移している。
- 費用対効果については、三市場個人委託売買代金の低下に加え、当四半期に発生した夜間取引(PTS)導入に伴う初期費用等が起因し、株式1約定あたりシステム費用は増加した。





※PTS： Proprietary Trading System (私設取引システム)

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

システム関連の開示 (2)

■ 主な設備増強及びシステム障害について

■主な設備増強　(2006年10月－12月)

日　付	増　強　内　容
10/27	注文データベースのCPU増強を実施　(約1.5倍規模)
11/30	携帯用ウェブサーバーのメモリー増強　(約2倍規模)
11/30	コールセンターシステム・IVR(自動音声応答) システムのサーバー増強　(約1.3倍規模)

■システム障害　(2006年10月－12月)

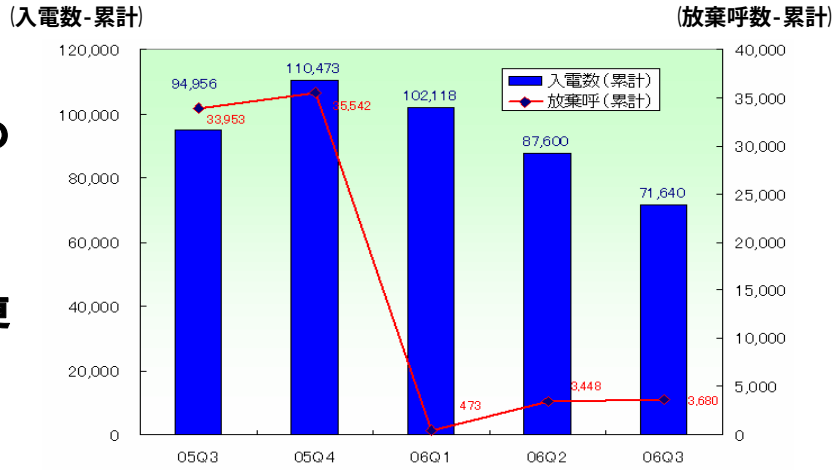
日付	内容	原因及び対処
10/17	顧客管理データベース(主系)の障害により、8:58-9:02分の間、ログインがしづらい、若しくはできない状況が発生。	• OS機能の一部であるプログラムの不具合。 • 即日運用で対処すると共に、10/21に修正プログラムを適用し再発を防止。
11/2～6	11/2 19：03頃、夜間取引の注文結果反映遅延、及び夜間取引を含む注文の不正な失効処理が発生。	• 11/1実施の夜間取引時間延長に伴う切替作業に考慮漏れがあり、注文日付を識別する処理が誤動作。 • 運用上の対処を実施すると共に、フェールセーフ機能を追加し再発を防止。

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

お客様サポートセンター関連の開示

■ お客様サポートセンター利用状況

- 第3四半期の入電数は安定して推移しており、四半期を通じて、どの時間帯においても繋がりやすい状態にあります。
- 放棄呼（サポートセンターにおいて混雑等でお客様からの問合せが受けられない状況）は、4月以降低い水準で推移しております。
- 11/1より、サポートセンターの営業終了時間を、「8時～20時」に変更いたしましたが、大きな影響はございませんでした。



■ お客様からのご要望の実現状況（10－12月）

要望事項		実施事項	
年月	内容	年月	内容
06/06	お取引手数料を見直して欲しい。	06/10	10/1よりワンウェイ手数料®を廃止し、信用取引手数料を大幅に値下いたしました。約定代金50万円以下は49%の値下げとなっております。
06/06	「8時～17時」までのサポートセンターの営業時間を延長してほしい。	06/11	「夜間取引（kabu.comPTS:私設取引システム）」運営開始に先立ち営業時間を「8時から23時」に変更し、その後入電数等を考慮の上、11/1より、営業時間を「8時～20時」としております。
06/09	「夜間取引(kabu.comPTS)」の情報系機能の拡充（投資ツール対応やチャート板等の拡充）を。	06/12	12/22に、「kabuマシーン™」の夜間取引（PTS）対応版「kabuマシーンPTS」の提供を開始しました。また、同日より「スーパーチャート」も夜間取引（PTS）対応版にバージョンアップしました。これらにより、夜間取引市場「kabu.comPTS」の情報サービスが大幅に強化され、夜間取引がまた一歩、昼間と同等の取引環境に近づくこととなります。
06/10	一般信用取引の取扱銘柄数をもっと増やしてほしい。	06/11	11/15より長期信用取引（一般信用取引）の売建可能銘柄を新たに312銘柄追加し既存380銘柄と合わせて692銘柄に拡大、オンライン専業証券最多の取扱銘柄数となりました。
06/11	信用取引のオンライン勉強会を実施してほしい	06/12	12/12に「実践！信用取引（初級編）」というテーマで、オンラインセミナーを開催いたしました。今後もお客様のご投資のお役に立てる企画を、検討して参ります。

■ お客様サポートセンター表彰

- 財団法人日本電信電話ユーザ協会が主催する、平成18年度 第10回「業種別企業電話応対コンテスト」の商業・金融部門において「優良賞」を受賞しました。
- 5年連続の入賞であり、同賞は3度目の受賞となります。

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

売買審査状況

■ 「金融商品取引法」への改正に向けて不公正取引の罰則が強化されました。
■ 夜間取引市場「kabu.comPTS」の市場開設に伴い審査件数が増加いたしました。
■ 健全な市場参加・運営に努め、不公正取引の未然防止に努めます。

平成19年3月期<4-12月>の主な売買審査状況

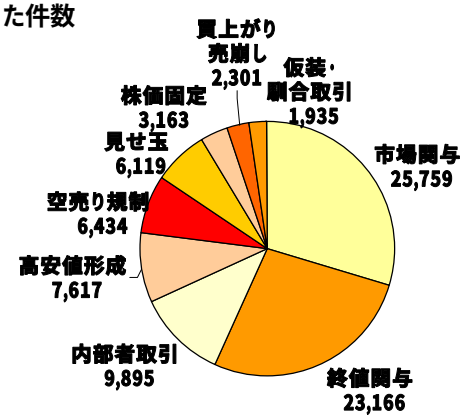
＜月次推移＞

売買審査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月		11月		12月	
						取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS	取引所取引	kabu.com PTS
空売り規制	484(41)	485(54)	688(57)	734(61)	861(87)	762(67)	-(-)	903(78)	-(-)	824(68)	-(-)	693(75)	-(-)
買上がり・売り崩し	191(27)	265(56)	294(127)	263(56)	274(51)	206(24)	12(0)	195(9)	49(0)	251(11)	48(0)	207(7)	46(0)
終値関与	556(20)	614(25)	1,447(102)	1,595(16)	1,781(16)	1472(8)	1,257(0)	1,547(8)	3,409(0)	1,432(12)	3,103(0)	1,742(9)	3,211(0)
仮装・馴合取引	38(3)	40(11)	233(16)	251(13)	276(4)	176(2)	6(2)	279(5)	6(1)	261(3)	25(0)	310(2)	34(0)
見せ玉	592(11)	668(24)	545(62)	535(20)	734(40)	461(5)	119(0)	359(2)	255(0)	542(8)	348(0)	704(8)	257(0)
高安値形成	189(0)	192(0)	688(9)	700(4)	690(3)	568(3)	270(0)	615(7)	580(0)	722(3)	870(0)	669(2)	864(0)
株価固定	496(0)	453(0)	217(11)	210(2)	289(3)	257(4)	47(0)	257(0)	118(0)	337(0)	83(0)	325(4)	74(0)
市場関与	1,343(23)	1,440(24)	1,474(31)	1,432(33)	1,541(39)	1,486(15)	1,110(0)	1,985(15)	3,166(0)	1,582(16)	3,805(0)	1,372(14)	4,023(0)
内部者取引	1,267(0)	945(1)	818(0)	969(0)	1,179(2)	994(0)	3(0)	1,615(0)	8(0)	898(0)	7(0)	1,187(0)	5(0)
月間計	5,156(125)	5,102(195)	6,404(415)	6,689(205)	7,625(245)	6,382(128)	2,824(2)	7,755(124)	7,591(1)	6,849(121)	8,289(0)	7,209(121)	8,514(0)
審査件数/注文件数	0.19%	0.25%	0.33%	0.40%	0.35%	0.56%		0.73%		0.93%		0.77%	

※上記表は、当社売買審査基準に基づいて取引審査を行った件数、（ ）内は、そのうちご案内や注意を行った件数

＜平成19年3月期　四半期推移＞
主な売買審査件数内訳

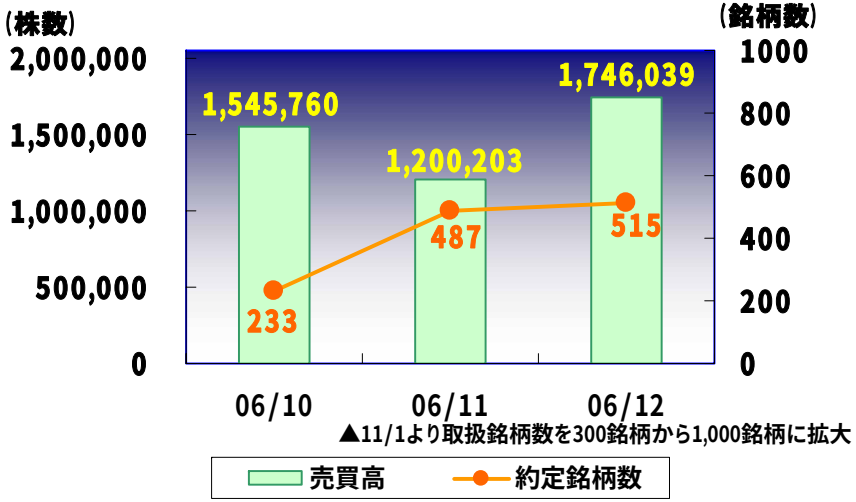
売買審査項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	合計
市場関与	4,257	5,569	15,933	25,759
終値関与	2,617	6,105	14,444	23,166
内部者取引	3,030	3,145	3,720	9,895
高安値形成	1,069	2,228	4,320	7,617
空売り規制	1,657	2,357	2,420	6,434
見せ玉	1,805	1,849	2,465	6,119
株価固定	1,166	803	1,194	3,163
買上がり・売り崩し	750	755	796	2,301
仮装・馴合取引	311	709	915	1,935
合計	16,662	23,520	46,207	86,389
審査件数/注文件数	0.25%	0.42%	0.80%	0.48%

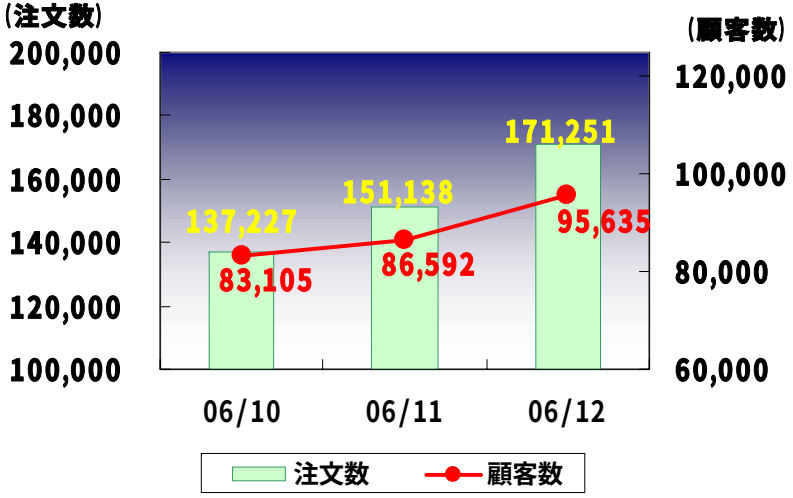


© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

kabu.comPTS（夜間取引）関連の開示

■ 国内初の競売買方式による私設取引システム（PTS）が個人投資家へ着実に浸透し、注文件数も取引開始（9/15）直後の4,000件台（/日）から、12月には9,000件（/日）を超え、その後も連続し記録を更新する等、個人投資家ニーズが高まっている。





PTS夜間市場に関する主な取り組み

11月

- 取引時間延長（23：00→23：59）、取扱銘柄の拡大（300銘柄→1000銘柄） 実施。米国サマータイム終了後も米国株式市場取引開始から29分間、kabu.comPTS取引時間と重なる。
- コンプライアンス（売買監視等）強化＞主担当部署の売買監視人員の拡充。
- PTS市場ランキングDM「お知らせ-夜間取引(PTS)の銘柄選びのヒント」配信を実施。PTS市場「値上がり、値下がり」ランキングをeメール配信。
- 夜間取引の啓蒙として書籍発売。株ナイトレ！石田高聖×臼田琢美「夜間取引」でもっと儲かるワザ完全攻略」廣済堂出版

12月

- ホームページにて実際の顧客の取引内容を「夜間取引お取引事例」として掲載。また、「PTS取引の仕組み」を掲載。
- 「kabuマシーン™」の夜間取引（PTS）対応版「kabuマシーンPTS」、及び「スーパーチャート（PTS対応版）」の提供を開始。
- 「夜間取引378円（みなやかん）キャンペーン」および「連携注文もみなやかん！378円キャッシュバックキャンペーン」を2007年3月末まで継続。

今後の実施予定

- ◆ 信用取引の取扱の開始
- ◆ 三証券会社（三菱ＵＦＪ証券、ゴールドマン・サックス証券、BNPパリバ証券）を始め、同業他社接続の開始

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

（補足資料）各社PTSの位置づけ

■ kabu.comPTSは、価格形成能力が最も高いオークション方式でPTSを実現

～ カブドットコム証券株式会社は、7月11日（火）、内閣総理大臣から「競売買の方法による証券会社の私設取引システム（PTS）運営業務の認可」を取得しました。
当認可は、2005年4月施行の証券取引法の一部改正にて追加されたPTSにおける競売買（オークション）方式として、国内で初めてとなるものです。 ～

一本値方式 ＜ ネゴ方式 ＜ 顧客対当方式 ＜ マーケットメイク ＜ オークション

		ジャスダック (*1)	東証（福証、札証）、大証、名証
マネックスナイター（マネックス証券）	ジャパン・クロッシング（インスティネット証券）	ムーントレード (*2)（ゴールドマンサックス証券）	kabu.comPTS（カブドットコム証券）

*1: ジャスダックはマーケットメイクとオークションのハイブリッド
*2: ゴールドマンサックス証券が2002年5月末まで運用

1．市場価格売買方式 （一本値方式）
証券取引所上場銘柄・店頭上場銘柄を、その銘柄が上場されている証券取引所・店頭市場におけるその銘柄の売買価格を用いて売買する方式。

2．顧客間交渉方式 （ネゴシエーション方式）
PTSにおいて顧客同士が価格や数量等の条件について交渉していき、双方が合意に達した条件のもとで売買する方式。
ロットの大きな売買に向いていると言われ、PTSは顧客が交渉する場と売買する場を提供しているというイメージになる。

3．顧客注文対当方式
顧客の提示した指値が、取引の相手方となる他の顧客の提示した指値と一致する場合に、その指値を用いて売買する方式。成行注文や板寄せといった手法が行われず、あくまでも顧客が提示した指値を突き合わせるところが取引所での売買方式と大きく異なる。
「顧客の指値を付け合わせる点において一定の価格形成機能を有するものの、成行注文や板寄せという手法が行われないという点において、取引所有価証券市場ほどには高度な価格形成機能を有しないものと整理されます。」（金融庁 平成12年10月26日指針）

価格形成機能あり ↓

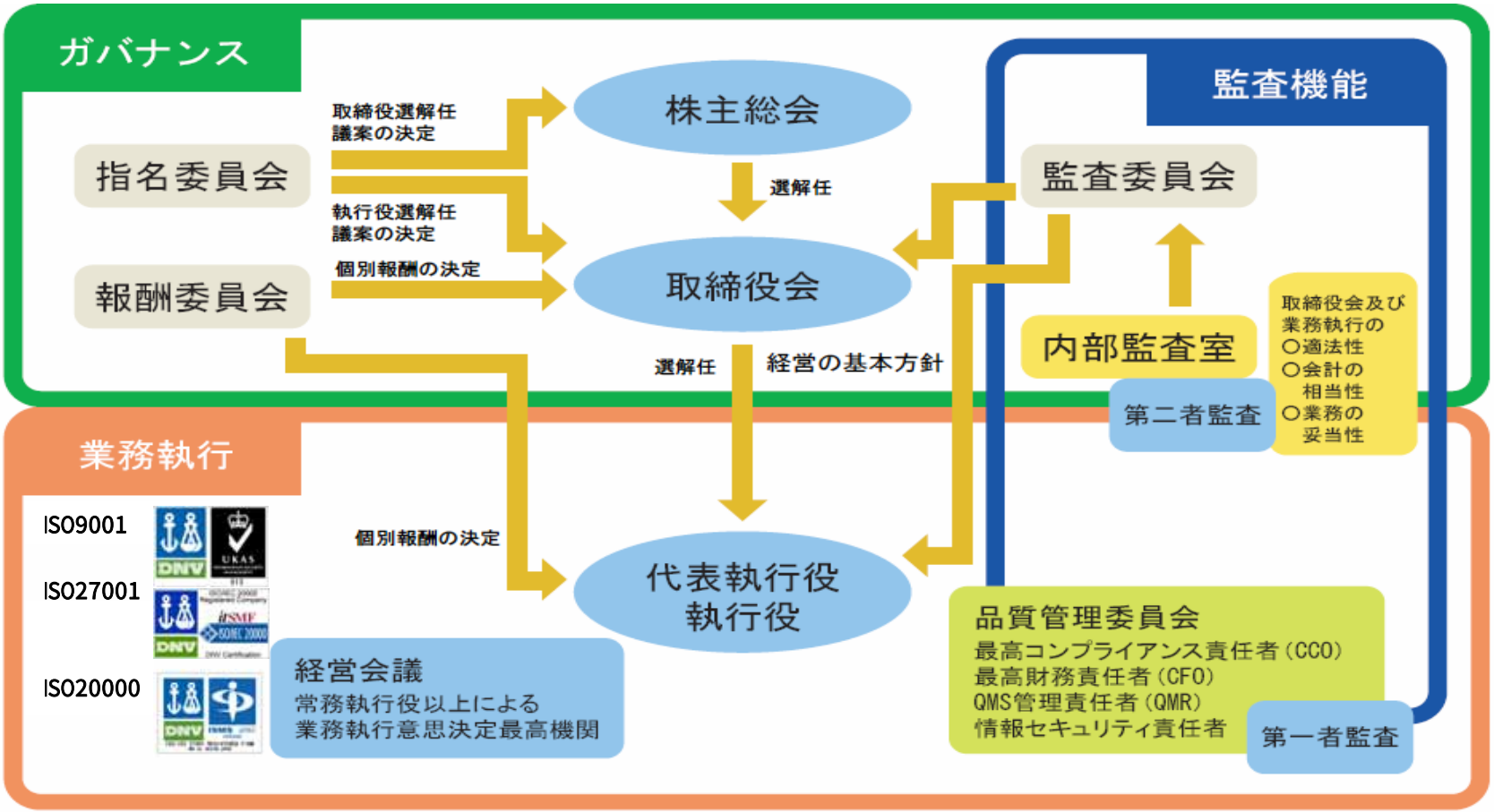
4．売買気配提示方式 （マーケットメイク方式／ジャスダック*）
証券会社（マーケットメイカー）が一つの銘柄に対して複数の売り気配・買い気配を提示し、これらに基づく価格を用いて売買する方式です。マーケットメイカーに対して恒常的な気配提示やそれに基づく約定義務が課されていないところが店頭市場でのマーケットメイク方式と大きく異なるところです。PTS運営者として、恒常的な気配提示や約定を義務づけるのであれば、それは店頭市場におけるマーケットメイクによる価格形成機能と何ら異ならないこととなるため、店頭市場としての法的な規制に服す必要があり、証券業として行うことはできないということになります。
「マーケットメイカーが自らの提示気配に基づき売買を行う点において一定の価格形成機能を有するものの、店頭売買有価証券市場ほどには高度な価格形成機能を有しないものと整理されます。」（金融庁 平成12年10月26日指針）。

5．オークション方式 （東証（福証・名証）・大証・名証・ジャスダック*／kabu.comPTS）
平成17年4月より新たに認められた売買方式。
競売買（オークション）方式とは、市場で投資家同士の注文が出合う形の売買方式のことです。東証や大証などと同じ取引方法のことで、市場に集まった投資家の売り、買いの注文が出合った場合に成立します。買い注文の場合にはより高い値段、売り注文の場合にはより低い値段が優先される「価格優先」、同じ注文価格の場合には時間が早い方が優先される「時間優先」というルールで次々と売買が成立していきます。 （出典： 当社ホームページ、PTS Information Networkホームページ等より抜粋）

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

コーポレート･ガバナンス

■ **「委員会設置会社」と、「品質(ISO9001)」「情報セキュリティ(ISO27001)」「ITサービス管理（ISO20000）」の国際規格による「PDCAサイクル」を基盤としたコーポレート･ガバナンスを確立しています。**



※ 平成15年6月　国内オンライン専業証券では初めて、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001（2000年版）の認証を取得
※ 平成18年8月　国内証券会社では初めて、情報セキュリティ管理の国際規格であるISO27001の認証取得
※ 平成18年8月　国内金融機関では初めて、ITサービス管理の国際規格であるISO20000の認証取得

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

知的財産関連の活動状況

■ 当社では、新技術およびそのサービス名称を「特許権」「商標権」として権利化することにより企業の保有する知的資産の価値として蓄積し、企業価値の向上に結びつけるため、知的財産戦略に積極的に取り組んでおります。

当四半期に、逆指値注文をはじめとする自動売買を実現するための発注装置に関する特許権を**新規に１件取得**いたしました。（売買注文自動発注装置及び売買注文の自動発注方法〔特許第3875206号〕）これにより当社の登録特許の件数は合計で**オンライン専業証券最多の４件**となりました。（共同特許含む）

■ 登録特許の内容

特許登録番号	特許権の概要
特許第3719711号（※）	電話をかけ直すことなく、コールセンター間の通話を可能にする中継方法
特許第3734168号	【自動売買】**±指値（プラマイさしね®）**の処理システム
特許第3754009号	【自動売買】**W指値®**の利益確定とロスカットの幅を自動設定するUターン注文の処理システム
特許第3875206号	【自動売買】当社の**逆指値**注文をはじめとする**自動売買**を実現するための発注装置

※三菱東京UFJ銀行との共同特許

- 取得済特許権以外にも、kabu.comPTS（夜間取引システム）の関連技術など当社独自のサービスに関する特許を多数出願中。
- 今後は、当社取得特許の他社の抵触状況等の調査を経た上で、特許権を当社の企業価値の向上のために利用していく予定です。

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Ⅴ．当社の経営目標

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

わたしたちは MUFGです。

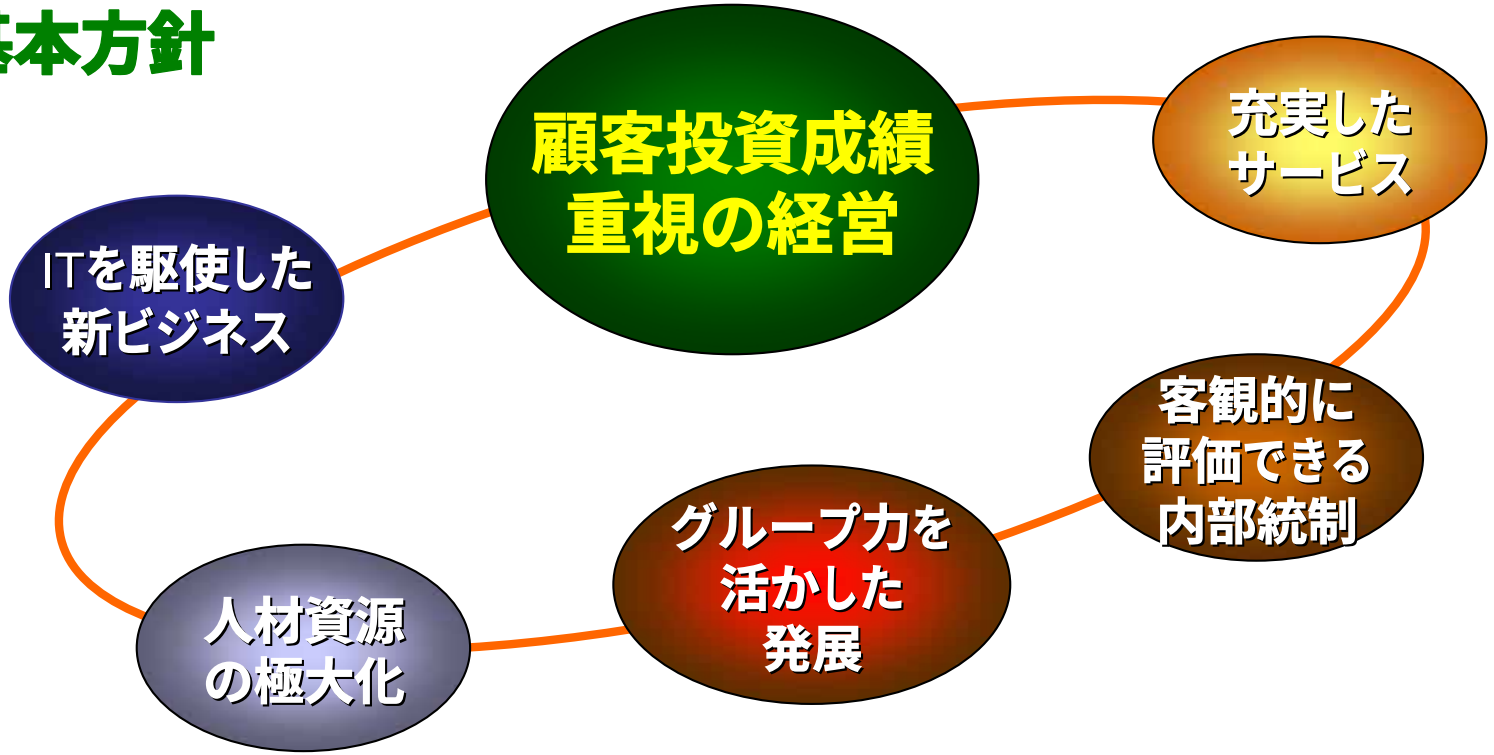
当社の経営理念・経営方針

■経営理念

顧客投資成績重視の経営

- 個人投資家へ **「リスク管理追求型」** というコンセプトのもとに、利便性と安定性を徹底的に追及した独自サービスを提供するとともに、啓蒙を図り「新しい投資スタイル」を提供します。

■経営基本方針



© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

わたしたちは MUFGです。

当社の経営目標

■ ＲＯＥ20%台の維持

- 当社は、企業価値最大化のためには自己資本に対する利益率の向上がその基盤になると考え、当期純利益によるＲＯＥ（自己資本利益率）を重視しております。
- 目標とするＲＯＥ20%台を中期的に維持することをめざしてまいります。
- ＲＯＥの目標達成のためには効率的な収益構造が必要であり、コストカバー率（※）を常に監視してまいります。

※コストカバー率

委託手数料÷販管費率：　委託手数料で販管費を何倍カバーできるかを表したもの
委託手数料÷システム関連費率：　委託手数料でシステム関連費を何倍カバーできるかを表したもの
*システム関連費＝不動産関係費+事務費+減価償却費

■ 配当性向30%程度の維持

- 当社は、財務体質の強化、将来の事業拡大のための内部留保等のバランスを考慮にいれながら利益配分を行うことで株主利益の最大化を図ることをめざしてまいります。
- 今後も株主利益の最大化を図りつつ、30%程度の配当性向を維持することを経営目標としてまいります。

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

kabu.comは積極的な開示を続けております

○IR情報
http://kabu.com/company/

○決算･財務情報
http://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.asp

○業務情報（委託手数料の推移）
http://kabu.com/company/disclosure/comission.asp

○業務情報（注文・約定情報等の推移）
http://kabu.com/company/disclosure/order.asp

○システムリポート
http://kabu.com/feature/system/report.asp

○サポートセンターリポート
http://kabu.com/support/report.asp

○kabu.comPTS 夜間取引情報
http://kabu.com/pts/default.asp

○SLA（サービス品質保証制度）精査状況
http://kabu.com/company/disclosure/sla.asp

○売買審査状況
http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/

○コーポレートガバナンス
http://kabu.com/company/governance.asp

○知的財産報告書
http://kabu.com/company/disclosure/ip_report.asp

○品質管理システム報告書
http://kabu.com/company/qms_report.asp

カブドットコム証券

東証１部［8703］

わたしたちはMUFGです。

© 2001-2007 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.